8. その他の取組

8-1. 既存の国民運動と連携した国際森林年記念行事

森林・林業に関わる既存の国民運動とも連携し、国際森林年記念行事を実施。森林などに対する意識が高く、積極的に行動している層に対して訴えることとした。

① 緑の少年団との連携『第 36 回東海地区緑の少年団サマージャンボリー』

【事業概要】

東海三県下の緑の少年団（隊）が一同に集い、自然の中で野外活動を通じて、緑の大切さを学んだ。また、国際森林年子ども大使との交流の場を設け、マスメディアを通じて、広く「日本の森を活かす」ことの重要性を PR した。

【日時】2011 年 8 月 3 日（水）～5 日（金）
【場所】岐阜市山県北野　岐阜市少年自然の家
【参加人数】147 名
【報道状況】2011 年
岐阜新聞（8/4）
【プログラム】

■ 8 月 3 日（水）
野外炊飯、森林環境学習（『森と川と海のつながり』講師：伊藤栄一）ほか

■ 8 月 4 日（木）
安全講習「川の活動についての安全講習」、自然体験活動（川の水質調査・生物調査）、川に慣れ親しむ活動　ほか

■ 8 月 5 日（金）
木工クラフト、ミュージカル鑑賞　葉っぱのフレディによるミュージカル　等

② 全国植樹祭との連携

【事業概要】

東日本大震災発生後に開催された最初の全国的な緑化行事である全国植樹祭において、専用ブースを設置し国際森林年に関するパネル展示を行うなど、来場者に対する国際森林年の趣旨等に関する PR に努めた。

【日時】2011 年 5 月 22 日（日）10：15～12：30
【場所】和歌山県田辺市　新庄総合公園
【参加人数】3,600 名（一般参加者 2,600 名）

【報道状況】2011 年

テレビ和歌山及び和歌山放送（ラジオ）（5/22）

毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、和歌山新報、日高新報（5/23）

紀伊民報（5/24）

【プログラム】

■ プロローグ ～神話から受け継ぐ日本の「和」～

■ 記念式典　～今を生きる私たちの元気な「歌」～

1. 表彰
   - ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール
   - ・緑化功労
   - ・全日本学校関係緑化コンクール
   - ・和歌山県緑化功労
2. 竹ポット苗の披露

   鹿野道彦　（農林水産大臣）

   近藤昭一　（環境副大臣）

   緑の少年団
3. 天皇皇后両陛下　お手植え・お手播き
4. 愛樹の誓い

   緑の少年団、県内小学生　ほか

■ エピローグ　～ここから始まる未来の「山」～

③ 全国育樹祭との連携

③-1. 第 35 回全国育樹祭併催行事　全国緑の少年団活動発表大会

【事業概要】

全国育樹祭の併催行事として実施された「全国緑の少年団活動発表大会」において、国際森林年子ども大使 2011 フレディーズと全国から選ばれた緑の少年団や県内の緑の少年団とが交流する場を創出し、国際森林年を契機として子ども達が森づくり活動に一層積極的に参加することを呼びかけた。

【日時】2011 年 11 月 19 日（土）　12：00～15：15

【場所】奈良県橿原文化会館

【参加人数】270 名（県内外緑の少年団 15 団 180 名ほか）

【報道状況】2011 年

奈良新聞（11/30）

③-2. 第 35 回全国育樹祭

【事業概要】

全国的な育樹行事を通じて「国際森林年メッセージ」を効果的に発信するため、おもてなし広場の展示ブースにおいてパネル展示を実施した。

【日時】2011 年 11 月 20 日（日）9：58～12：12
【場所】奈良県平城宮跡
【参加人数】約 2,700 名（一般参加者　約 1,700 名）
【報道状況】2011 年
奈良テレビ放送・NHK 奈良放送局によるニュース放映等（11/20）
朝日新聞、産経新聞、日経新聞、毎日新聞、読売新聞（11/21）
日刊木材新聞（11/22）
奈良新聞（11/30）
奈良テレビ放映（12/30）
【プログラム】

■ お手入れ行事
昭和天皇お手植木へのお手入れ（施肥）
■ プロローグ
■ 式典
1. 皇太子殿下のおことば
2. 表彰
・「全国緑の少年団活動発表大会」入賞団体表彰
・「全国育樹活動コンクール」入賞者表彰
・「ふれあいの森林づくり」優良市町村等表彰
・「奈良県緑化等功労者」表彰
3. みどりの贈呈
鹿野道彦（農林水産大臣）、前田武志（国土交通大臣）から全国緑の少年団の代表（4 団）へ贈呈
4. 緑の少年団活動発表　ほか
■ エピローグ

④ 美しい森林づくり推進国民運動「高尾の森・ふれあいと学びのキャンペーン」

【事業概要】

国際森林年を契機として、地域から全国に発信する新たな森づくり国民運動の推進を目指して、公益社団法人国土緑化推進機構が、高尾山一帯の森林において、様々な団体が取り組む森にふれ、学び、守り育てる行事やアクション等を幅広く紹介。それら団体が相互

に連携・協力して、森の恵みに感謝しつつその適切な保全と利用を登山者等に呼びかける「高尾の森・ふれあいと学びのキャンペーン」（親子間伐体験、キックオフ式典、普及啓発活動）を実施した。

【日時】

1　親子間伐体験　　2011 年 10 月 1 日（土）10：00～13：00

2　キックオフ式典　2011 年 10 月 1 日（土）14：00～17：00

3　普及啓発活動　　2011 年 10 月 1 日（土）～11 月 30 日（水）

【場所】東京都八王子市高尾町　日影沢キャンプ場、高尾山国有林、高尾登山電鉄「清滝」駅前広場　ほか

【参加人数】

1　親子間伐体験　150 名

2　キックオフ式典　2,000 名

3　普及啓発活動　60 万名以上

【報道状況】2011 年

日本教育新聞（10/10）

八王子経済新聞　電子版（10/12）

毎日新聞デジタル BizBuz（12/9）

読売新聞（12/26）

【出演者】

栗田宏武　（ログビルダー）

宮林茂幸　（国際森林年国内委員、東京農業大学教授）

黒須隆一　（八王子市長）

水野じゅん　（八王子市議会議長）

沖修司　（林野庁国有林野部長）

河西瑛一郎　（社団法人日本山岳会高尾の森づくりの会代表）

長岡俊夫　（森林インストラクター東京会）

清水英二　（NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク代表）

2011 フレディーズ

田中昌之　（林野庁高尾森林センター所長）

森田康裕　（KDDI 株式会社新規事業総括本部ビジネス統括部長）

丹羽順子　（司会）

吉本多香美　（女優）

谷福丸　（公益社団法人国土緑化推進機構副理事長）

上田正樹　（シンガーソングライター）

⑤ 木づかい運動との連携

【事業概要】

「木づかい運動」を一層幅広く推進するため、国際森林年を記念した「木づかいシンポジウム」を開催（10 月 18 日）するとともに、木づかい運動の推進に功績のあった者に対する感謝状の贈呈式を行った。

【日時】2011 年 10 月 18 日（火）13：00～13：30
【場所】東京大学弥生講堂一条ホール
【参加人数】120 名
【報道状況】2011 年
日刊木材新聞（10/21）
産経新聞（10/23、26）
Fuji Sankei Business i（10/31、11/1）
日本林業調査会 J-FIC　News（10/13）
【農林水産大臣感謝状受賞者】
・相澤秀郎　（西北プライウッド株式会社　常務取締役）
・松井正　（株式会社イトーキ　代表取締役社長）
・和田正光　（一般社団法人工務店サポートセンター　執行役員）
・北義彦　（株式会社南都銀行　取締役東京支店長）
・槙野賢児　（株式会社木遊舎　常務取締役）
【林野庁長官感謝状受賞者】
・木村一義　（株式会社シェルター　代表取締役）
・古田元　（親和木材工業株式会社　取締役社長）
・岡野健　（特定非営利活動法人木材・合板博物館　館長）
・服部進　（ハートツリー株式会社　代表取締役）
【（財）日本木材総合情報センター理事長感謝状受賞者】
・八木英則　（株式会社オリバー　営業企画部　部長代理）
・浦江真人　（東洋大学木と建築で創造する共生社会研究センター　研究員・准教授）
・伊藤正幸　（穂の国の森から始まる家づくりの会　代表）
・ストローファーム　欠席

8-2. 国有林業事業の取組

全国 7 つの森林管理局において、600 回を超える国際森林年関連イベントを開催。そのイベントへの参加者総数は 120 万人以上にも達した。イベントのなかで、新規に、国際森林年記念イベントとして特別企画されたものは 93 イベント、参加者総数は 100 万人を超えた。

No.	森林管理局	項目	国際森林年特別企画（新規）	例年イベントに特別企画付加	例年イベントに国際森林年の趣旨啓発付加	計
①	北海道	イベント数	16	78	13	107
		参加者数	424,320	55,050	14,720	494,090
②	東北	イベント数	12	3	20	35
		参加者数	1,680	576	2,603	4,859
③	関東	イベント数	14	14	68	96
		参加者数	578,198	12,116	20,944	611,258
④	中部	イベント数	24	63	41	128
		参加者数	1,986	7,261	3,941	13,548
⑤	近畿中国	イベント数	13	12	65	90
		参加者数	1,919	2,003	33,901	37,843
⑥	四国	イベント数	10	15	86	111
		参加者数	571	33,512	4,482	38,565
⑦	九州	イベント数	4	3	47	54
		参加者数	600	800	4,925	6,325
計		イベント数	93	188	340	621
		参加者数	1,009,274	111,318	85,516	1,206,488
		イベント割合	15%	30%	55%	100%
		参加者数割合	84%	9%	7%	100%

（注 1）本表は、平成 23 年 12 月末現在の実績を整理したもの。

（注 2）イベント数は、局署等の主催・共催及び実行委員などへの直接の参画を含めたもの。

（注 3）参加者数は、イベントへの参加者数である（一部、推定も含む）。

①北海道

①‐1. 国際森林年記念シンポジウム

【事業概要】

2011 年 9 月 11 日、札幌市男女共同参画センターにおいて、国際森林年記念シンポジウム「森を歩いて感じよう！森林から始まる北海道の未来」を開催。シンポジウムでは、国際森林年子ども大使による国際森林年アピール宣言や溝畑宏観光庁長官の記念講演、パネルディスカッション、国際森林映画祭参加作品「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」の上映を実施。

【日時】2011 年 9 月 11 日（日）
【場所】札幌市男女共同参画センター3 階ホール
【参加人数】約 200 名
【プログラム】

1.国際森林年たすきリレーセレモニー
2.国際森林年アピール宣言
3.記念講演「観光立国の推進と森林の可能性」
4.パネルディスカッション「森を歩いて感じよう！森林から始まる北海道の未来」

〔ゲストコメンテーター〕溝畑宏（観光庁長官）
〔コーディネーター〕
柿澤宏昭
（北海道大学大学院農学研究院教授、森林・林業基本政策検討委員会委員）
〔パネリスト〕
松本芳樹　（北海道森林管理局企画調整部長）
瀧澤紫織　（医療法人こぶし植苗病院精神科医師、日本森林保健学会事務局長）
貝澤耕一　（ＮＰＯ法人ナショナルトラスト･チコロナイ代表、平取アイヌ文化保存会事務局長）
煙山泰子　（KEM 工房主宰、木育ファミリー代表）
吉田良弘　（株式会社ヨシダ代表取締役、北海道木材青壮年団体連合会事務局長）
三木昇　（北ノ森自然伝習所主宰、北海道アウトドアガイド協会理事長）

①‐2. 北海道森林管理局森づくりイベントリレーin 国際森林年～森を歩こう～

【事業概要】

北海道森林管理局では、北見-旭川-帯広-函館-札幌の 5 地区で企画された国際森林年のメインイベントを「たすき」と共に北海道各地を巡るリレー方式で開催し、国際森林年の意義や森林・林業の大切さを多くの道民に伝える機会とした。

（1）　北見地区・国際森林年記念ボランティア植樹　～オホーツクの森を歩く～
【事業概要】
　植樹および森林散策（ガイドウォーク）を実施。
【日時】2011 年 5 月 25 日（水）
【場所】北見市端野町国有林「オホーツクの森」
【参加人数】230 名

（2）　旭川地区・国際森林年記念植樹祭　～道北の「森を歩く」～
【事業概要】
　植樹を実施。（森林散策は荒天により中止）
【日時】2011 年 6 月 18 日（土）
【場所】上川郡和寒町三和地区国有林及び和寒町南丘森林公園
【参加人数】200 名

（3）　帯広地区・国際森林年夏休み親子国有林観察ツアー
【事業概要】
　森林内の散策と写真撮影、望楼の見学、木工、炭焼き体験を実施。
【日時】2011 年 7 月 31 日（日）
【場所】川上郡厚岸町国有林（根釧西部署パイロットフォレスト）
【参加人数】40 名

（4）　函館地区・2011 国際森林年記念育樹祭～大沼の森を歩く～
【事業概要】
　森林内の散策と写真撮影、望楼の見学、木工、炭焼き体験を実施。
【日時】2011 年 9 月 4 日　（日）
【場所】大沼地区国有林（渡島署 2127 林班）・大沼国際セミナーハウス（七飯町大沼）
【参加人数】150 名

（5）　札幌地区・2011 国際森林年記念シンポジウム
　～森を歩いて感じよう！森林から始まる北海道の未来～
【事業概要】
　記念講演、パネルディスカッション、映画祭参加作品上映を実施。
【日時】2011 年 9 月 11 日（日）
【場所】札幌市エルプラザ内「男女共同参画センター3 階ホール」
【参加人数】207 名
【プログラム】
　1.国際森林年アピール宣言（国際森林年子ども大使）
　2.記念講演（溝畑宏観光庁長官）
　3.パネルディスカッション

〔ゲストコメンテーター〕溝畑宏（観光庁長官）
〔コーディネーター〕
柿澤宏昭（北海道大学大学院農学研究院教授、森林・林業基本政策検討委員会委員）
〔パネリスト〕
瀧澤紫織　（医療法人こぶし植苗病院精神科医師、日本森林保健学会事務局長）
貝澤耕一　（NPO 法人ナショナルトラスト・チコロナイ代表、平取アイヌ文化保存会事務局長）
煙山泰子　（KEM 工房主宰、木育ファミリー代表）
吉田良弘　（株式会社ヨシダ代表取締役、北海道木材青壮年団体連合会事務局長）
三木昇　　（北ノ森自然伝習所主宰、北海道アウトドアガイド協会理事長）
松本芳樹　（北海道森林管理局企画調整部長）

4.国際森林映画祭参加作品上映（「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」）

②東北
「白神を考える旬間シンポジウム」と「森を歩く集い」

【事業概要】
毎年 9 月上旬を「白神山地を考える旬間」として、白神山地に関する各種行事を集中的に実施。今年は、国際森林年企画として、局主催により 9 月 10 日に「白神を考える旬間シンポジウム」を、また、翌 11 日に「森を歩く集い」を開催。

②-1. 白神を考える旬間シンポジウム

【事業概要】
「変化する白神山地の自然を探る」をテーマに、気候（気候変動）、植物（森林生態系）、動物（鳥類、猛禽類）に焦点を当てて、後世に残す自然遺産としての価値やその保全管理手法について、学識経験者 3 名による講演。当日は、地元住民のほか、大学生や白神山地のガイド関係者など約 120 名が出席し、地元の住民と知見を共有。

【日時】2011 年 9 月 10 日（土）
【場所】弘前市総合学習センター
【参加人数】約 120 名
【プログラム】
(1)「地球環境と森林」森川靖（早稲田大学教授）
(2)「ブナ林の変化をさぐる」中静透（東北大学教授）
(3)「白神山地に棲む鳥類の動向」由井正敏（岩手県立大学名誉教授）

②-2．森を歩く集い

【事業概要】

国際森林年の国内テーマ「森を歩く」にちなみ、実際に一般の方々に白神山地を歩いてもらい、自然遺産の価値を散策しながら体感してもらうよう 3 コースで実施。

【日時】2011 年 9 月 11 日（日）
【場所】暗門の滝
高倉森などブナ林（青森県西目屋村）
田苗代湿原と岳岱自然観察教育林（秋田県藤里町）
【参加人数】約 60 名

③関東

③-1．国際森林年記念「グリーンフェア 2011」

【事業概要】

(1)「国際森林年記念・絵画書道コンクール」表彰式

群馬県内の小学生を対象に募集した、絵画（テーマ：みんなの森林）と書道（御題：みんなの森林または国際森林年）作品の中から、部門ごとに主催、後援団体により選ばれた優秀な作品を 7 点表彰。また、高校生による「森林へのメッセージ」、「被災地復興へのメッセージ」を揮毫する書道パフォーマンスの実施。

・ 式典演奏（県立前橋東高等学校吹奏楽部）
・ 書道パフォーマンス（県立前橋東高等学校書道部）

※「国際森林年記念・絵画書道コンクール」後援団体
群馬県教育委員会・上毛新聞社・日本放送協会前橋放送局・群馬テレビ
エフエム群馬・群馬県緑化推進委員会

(2)　「国際森林年記念・絵画書道コンクール」応募作品の展示

(3)　体験コーナー

「樹木ラリー」、「丸太切り＆椎茸駒打ち」、木の漢字クイズ

国際森林年のテーマ「森を歩く」にあわせ、局構内の樹木を巡る「樹木ラリー」を実施。

【日時】2011 年 4 月 29 日（昭和の日）
【場所】関東森林管理局
【参加人数】約 200 名

④中部

④-1. 軽井沢「国際森林年」記念事業

【事業概要】

軽井沢町民で組織する軽井沢野生動物問題研究会クロス等との共催による「軽井沢国際森林年記念事業」を実施。軽井沢の自然は昔から開発と保全という二項対立を抱え、豊かな自然環境そのものが最大の観光資源である一方、それを開発や利用することで経済社会を成り立たせてきた歴史がある。本事業では本年が国際森林年であることを踏まえ、これからの軽井沢町における人間社会と自然との持続可能な関係を考えた。

【日時】2011 年 6 月 12 日、8 月 21 、27 日、9 月 11 日、11 月 5 日（計 5 回）

【参加人数】

自然観察ツアー　約 150 名

シンポジウム　　約 150 名

体験林業　　約 120 名

【プログラム】

1.自然観察ツアー

記念事業では、「カラマツの新緑を楽しむ」（6/12）、「自然と歴史を楽しむ」（8/27）などをテーマとした自然観察ツアーを実施。

2.シンポジウム

「国際森林年を機に我々は森林とどうつきあうのか～ 軽井沢からの提言～ 」をテーマにシンポジウム（8/21）を開催。

3.林業体験

「野生動物の生息エリアと人間の生活エリアとの緩衝帯をつくる」体験林業（9/11）を実施。

④-2. 森林ふれあい講座

【事業概要】

一般国民を対象とした森林に関する講座を、「国際森林年」のテーマである「森を歩く」を意識して実施。野鳥観察、里山保全とほたるの話、しいたけ菌打ち体験、間伐材伐出現場見学等を行った。

【日時】2011 年 2 月 5 日、3 月 12 日、6 月 11 日、11 月 5 日、12 月 10 日（計 5 回）

【参加人数】117 名

⑤近畿中国

⑤－1.「水都おおさか森林（もり）の市 2011」

【事業概要】

大阪市をはじめ近隣の都市住民に、人々の営みを支えてきた森林に目を向けてもらい、その重要性を伝えることを目的として開催。森林・林業・水資源などの分野から約 57 の出展テナントにより、丸太伐りや木工教室などの体験コーナーをはじめ、林産物・ふるさと産品の販売、地域活動団体の取組みも紹介。

また、ステージイベントやスタンプラリーを行ってイベントを盛り上げた。また、丸太伐りや木工教室など体験コーナーを通じ、木にふれることで木の良さを知ってもらい、木材利用の促進を図った。

【日時】2011 年 10 月 8 日（土）～9 日（日）
【場所】近畿中国森林管理局前・毛馬桜之宮公園・OAP 周辺
【参加人数】約 25,000 名

⑤-2. 遊々の森『森の幼稚園ひかり』における森林教室

【事業概要】

園児達に自然界の色々な形や模様のおもしろさ、観察力を高めることを目的にした‘葉っぱじゃんけん’や森での様々な形を探すフィールドパターンを行った。また、保護者の方々に対しては、森林の重要性や「国際森林年」の PR を行った。

【日時】2011 年 6 月 4 日（日）
【場所】大亀谷国有林
【参加人数】90 名（ひかり幼稚園年長園児・保護者）

⑥四国

⑥-1. 魚梁瀬千本山と 100 年の歴史･森林鉄道遺産を訪ねるツアー

【事業概要】

昭和 38 年に廃線となった魚梁瀬森林鉄道遺産と、森林鉄道で運ばれたであろう丸太の大きさを今に伝える魚梁瀬の千本山を訪ねるツアーを、森林鉄道ガイド（中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会）及び魚梁瀬森の案内人クラブと連携して開催。

【日時】2011 年 6 月 5 日
【場所】高知県安田町及び馬路村
【参加人数】43 名

⑥-2. 国際森林年記念「四国の森林生物多様性保全シンポジウム」

【事業概要】

2011 年の国際森林年及び 2010 年の国際生物多様性年を記念し、一般の方々に四国の森林に生息する野生動植物の現状と課題についてご理解いただくことを目的として、生物多様性保全シンポジウムを開催。

【日時】2011 年 11 月 27 日
【場所】高知県高知市
【参加人数】80 名
【プログラム】

1.基礎講演　「すばらしき野生の世界」
　中西安男　（動物写真家、わんぱーくこうちアニマルランド元職員）

2.報告
　佐藤重穂　（森林総合研究所四国支所）
　金澤文吾　（NPO 法人四国自然史科学研究センター）
　石川和男　（松山東雲女子大名誉教授）
　山崎三郎　（よみがえれ四万十源流の会）
　前田綾子　（高知県立牧野植物園）

⑦九州

⑦-1.『雲仙普賢岳』ふるさとの森林づくり植樹祭

【事業概要】

2011 年が国連の定める「国際森林年」であること、また、雲仙普賢岳の大規模火砕流発生から 20 年が経過する節目の年であることから、市民参加によりその火砕流発生跡地を、以前の森林に再生するとともに、参加者に森林の持つ公益的機能やその重要性等の理解を深めてもらうことを目的に植樹祭を実施。

【日時】2011 年 10 月 30 日（日）
【場所】長崎県島原市南千本木町おしが谷
【参加人数】約 300 名

⑦-2.「国際照葉樹林サミット in 綾」

【事業概要】

2011 年の国際森林年と国際生物多様性の日（毎年 5 月 22 日）を記念し開催。東アジアに分布する照葉樹林の生物多様性やそれが育んできた文化、照葉樹林の保全と利用に関す

る情報交換や交流を通じ、照葉樹林とそこに息づく文化を次世代により良い形で引き継ぐことを目的とした。

【日時】2011 年 5 月 21 日（土）～22 日（日）
【場所】宮崎県東諸県郡綾町
【参加人数】シンポジウム：約 500 名・現地見学会：約 100 名
【プログラム】

■5 月 21 日　シンポジウム

1.基調講演

（1）「世界の照葉樹林の現状とその保全の重要性」大澤雅彦氏（マラヤ大学教授）

（2）「中国・雲南省における照葉樹林帯の植物及びその利用」魯元学（中国科学院昆明植物研究所　実験師）

2.分科会でのテーマ別討議

（1）照葉樹林を活かした地域づくり

（2）里山照葉樹林の恵みと危機

（3）照葉樹林・生活文化の発展的継承

（4）体験分科会（親子で作る木工教室）

3.ポスターセッション

4.全体討議・大会宣言

■5 月 22 日　現地見学会

A 森林総研プロット見学と大森岳林道散策

B 綾南林道（多古羅）作業小屋～分校跡

C 森林セラピー体験（川中国有林）

D 猟師が案内する綾の森

E 綾の森を一望するトレッキングルートめぐり

F 綾ほんものセンター見学と伝統工芸めぐり

8-3. 各種メディアとの連携による取組

① 日テレアックス・オン企画
国際森林年特別番組「森林に生かされて　～乙葉が伝える森と木の魅力～」

【番組概要】
森の中で触れる「癒し」の効果。木材製品から感じる温もり。樹木は瑞々しく色づき、鮮やかな花が彩りを添えている。日本各地の森を巡り、その森を守り続けている人たちだけが知る「森のパワー」を紹介し、森の魅力を再発見する番組。

【キャスト】
・乙葉　　（タレント・女優）
・松尾依里佳　（バイオリニスト）
・2011 フレディーズ
・田名部匡代　（農林水産大臣政務官）
・江上真里子　（利根沼田森林管理署森林官）　ほか
【企画協力】林野庁
【放送局】BS 日テレ
【放送日】2011 年
第 1 回　9 月 17 日（土）16：00 から 1 時間
第 2 回　9 月 25 日（日）16：00 から 1 時間
第 3 回　10 月 9 日（日）26：00 から 1 時間

② ヘッド・ライン企画
国際森林年特別番組「僕たちは森のことをどこまで知っているのか話すテレビ」

【番組概要】
ペナルティのヒデと女優黒谷友香の進行により、毎回多彩なゲストを交えて、森について語り合う番組を計 4 回にわたり放送。
若者を中心として圧倒的な人気を誇る AKB48 のメンバーが間伐などに挑戦した様子もレポートし、「アイドルと森」の意外な切り口で、森の価値を伝えた。

【キャスト】
・ペナルティ・ヒデ　（芸人）
・黒谷友香　　（女優）
・AKB48 メンバー：秋元才加、梅田彩佳、小林香菜、増田有華
・北乃きい　　（女優）
・別所哲也　　（俳優）

・永井美奈子　　（フリーアナウンサー）
・2011 フレディーズ
・皆川芳嗣　　（林野庁長官）
【企画協力】林野庁
【放送局】BS フジ
【放送日】第 1 回　11 月 5 日（土）　午前 8：30 から 25 分
第 2 回　11 月 12 日（土）午前 8：30 から 25 分
第 3 回　11 月 19 日（土）午前 8：30 から 25 分
第 4 回　11 月 26 日（土）午前 8：30 から 25 分

③　産経新聞社企画　地球環境大賞連携　国際森林年記念　木づかいシンポジウム

【事業概要】
森林の多面的な機能を活用した持続可能な循環型社会への挑戦をテーマに、日本の森林の育成と環境改善を進める「木づかい」運動に関する講演や議論を実施。住宅メーカーへの間伐材利用の提案や、木のぬくもりを活かしたおもちゃや建築など木づかいの事例紹介とともに、森林を利用した循環型社会の実現を望む提言がなされた。

【日時】2011 年 11 月 9 日（水）
【場所】東京都大手町　サンケイプラザサンケイホール
【参加人数】186 名
【報道状況】
産経新聞（10/7、10/23、26、11/2、11/10、28）
【プログラム】
1. 基調講演 1
「ライフスタイルのパラダイムシフト。森林の営みが創りだす循環型社会とは」
赤池学　　（国際森林年国内委員、ユニバーサルデザイン総合研究所所長）
2. 基調講演 2　「緑の国へ　～生まれ変わる日本のシナリオ～」
稲本正　　（オークヴィレッジ株式会社代表）
3. パネルディスカッション
〔コーディネーター〕
安藤直人　（東京大学名誉教授）
〔パネリスト〕
竹下景子　（女優、フォレスト・サポーターズ）
多田千尋　（東京おもちゃ美術館　館長）
皆川芳嗣　（林野庁長官）

④　読売エージェンシー企画
国際森林年シンポジウム「木質都市への挑戦～木材利用と木造の未来」

【事業概要】
森林資源に対する新たな考え方や木材利用の技術革新が期待されている中、ヨーロッパ諸国では多くの新たな木造建築物が建てられていることを受け、我が国における「木質都市」実現の意義や取組むべき課題などについて講演、パネルディスカッションを行った。

【日時】2011 年 11 月 15 日（火）13：00～
【場所】すまい・るホール（文京区後楽）
【参加人数】182 名
【報道状況】2011 年
日刊工業新聞（11/16）
建通新聞ほか（11/18）
告知・採録広告：
読売新聞　都内版（10/20、11/9）
読売新聞　全国版（12/26）
インターネットサイト「yorimo」メルマガ（会員 60 万人）（11/9）
特設ページ開設（11/9～11）
【プログラム】
１．基礎講演Ⅰ「古く、かつ新しい素材　木の魅力」
・香山壽夫（東京大学 名誉教授）
２．基礎講演Ⅱ「Urban wood ヨーロッパ都市部の木材建築の現状 過去と未来」
・ウォルフガング・ウィンター（ウィーン工科大学）
３．パネルディスカッション
「～新たな木質建築物の鼓動～日本における木質都市への挑戦」
〔司会〕渡辺真理（フリーアナウンサー）
〔コーディネーター〕
安藤直人（東京大学 名誉教授）
〔パネリスト〕

香山壽夫	（東京大学 名誉教授）
ウォルガング・ウィンター	（ウィーン工科大学教授）
中島浩一郎	（銘建工業株式会社 代表取締役社長）
中山エミリ	（女優・タレント）
皆川芳嗣	（林野庁長官）

⑤　日刊工業新聞社等企画　「エコビルド 2011」展示会

【事業概要】

世界中の建築家や建築学生が交流し、世界の建築文化の向上と世界平和に寄与することを目的に開催されるエコビルド 2011 展にて、国際森林年ブースを出展し、木材活用の重要性を訴求した。

【日時】2011 年 9 月 26 日（月）～ 28 日（水）
10：00 ～ 18：00（最終日は 17：00 まで）
【場所】東京国際フォーラム　展示ホール
【参加人数】合計 9,203 名
9 月 26 日（月）：2,820 名
9 月 27 日（火）：3,084 名
9 月 28 日（水）：3,299 名
【報道状況】2011 年
日刊工業新聞（9/26～29）

⑥　毎日新聞企画　「水と緑の地球環境本部」による植樹計画

毎日新聞社が、多様な NPO 団体や地方公共団体等を連携協力して全国 12 か所で行う「いのちの森づくりリレー植樹」において、国際森林年を記念して、「森と人との関係について多くの人々の認識を向上させること」を目的に、森づくり環境劇上演やシンポジウムなどの普及・啓発活動を展開。

［ 植樹行事一覧 ］

No.	行事名	実施日	参加人数	植樹本数	参加者
1	静岡県掛川市植樹	4 月 30 日	300 名	1,000 本	松浦成夫（NPO 法人時の寿の森クラブ会長） 斗ケ沢秀俊　（毎日新聞社水と緑の地球館環境本部長） 伊村義孝（掛川市副市長） 宮脇昭（横浜国立大学名誉教授） 地元障がい者通所施設の障がい者と障がい児施設の園児 メダカのコタロー劇団 世界七夕アクション
2	学校防災の森植樹	5 月 9 日	500 名	1,650 本	宮脇昭（横浜国立大学名誉教授） 山本修司（毎日新聞社横浜支局長） 増井真（横浜市立新羽中学校長）

No.	行事名	実施日	参加人数	植樹本数	参加者
3	超高密・東京都豊島区植樹	5月22日	800名	3,750本	高野之夫　（豊島区長） 斗ヶ沢秀俊（毎日新聞社水と緑の地球環境本部長） 末松広行（林野庁林政部長） 宮脇昭（横浜国立大学名誉教授） メダカのコタロー劇団 井上あずみ（歌手）
4	北海道小樽市植樹	6月26日	400名	2,200本	中村全博（北海道千年の森プロジェクト理事長） 岸本卓也（毎日新聞社執行役員・北海道支社長） 宮脇昭（横浜国立大学名誉教授）
5	世界遺産・白神山地植樹	7月2日	400名	1,000本	永井雄人（白神山地を守る会会長） 北林靖彦（毎日新聞社青森支局長） 青木正篤（国土緑化推進機構常務理事） 矢部三雄（東北森林管理局長） 前澤豊利（青森県自然環境保護課長） 宮脇昭（横浜国率大学名誉教授）
6	豊橋市植樹	7月10日	500名	6,000本	宮脇昭（横浜国立大学名誉教授） メダカのコタロー劇団 神野吾朗（穂の国森づくりの会会長） 度会文化（毎日新聞社常務執行役員・中部代表） 皆川芳嗣（林野庁長官） 大村秀章（愛知県知事） 佐原光一（豊橋市長）
7	清里高原植樹	7月24日	120名	1,500本	－
8	被災地・仙台市若林地区植樹	7月31日	350名	1,000本	高橋悦子（NPO法人・冒険あそび場－せんだい・みやぎネットワーク） 斗ヶ沢秀俊（毎日新聞社水と緑の地球環境本部長） 皆川芳嗣（林野庁長官） 稲葉信義（仙台市副市長） 菊池守（仙台市若林区復興支援組織「六郷七郷コミネット」会長） 宮脇昭（横浜国立大学名誉教授）
9	埼玉県行田市親子植樹	9月4日	350名	1,500本	今村武蔵（行田市森づくり環境再生実行委員長） 宮脇昭　（横浜国立大学名誉教授）
10	被災地・福島県川内村植樹	9月25日	100名	900本	秋元洋子（川内村へ迎える会会長） 斗ヶ沢秀俊（毎日新聞社水と緑の地球環境本部長） 遠藤雄幸（川内村長） 井出茂（川内村商工会長） 秋元公夫（福島県双葉地方森林組合長） 宮脇昭（横浜国立大学名誉教授）
11	火砕流20年・普賢岳植樹	10月30日	300名	3,400本	平之山俊作（林野庁九州森林管理局長） 斗ヶ沢秀俊（毎日新聞社水と緑の地球環境本部長） 沼田正俊（林野庁次長） 横田修一郎（島原市長） 宮脇昭（横浜国立大学名誉教授）
12	水俣・実生の森植樹	11月20日	150名	900本	宮脇昭（横浜国立大学名誉教授）
	計		4,270名	24,800本	

【報道状況】2011年

1．　毎日新聞　静岡版（5/1）

　　インターネットTVで放映

2．　毎日新聞　神奈川版（5/11）

４．　毎日新聞　北海道版（6/27）
　　インターネット TV で放映
５．　毎日新聞　全国版社会面、青森版（7/3）
　　毎日新聞　東日本版（6/26）
　　毎日新聞　全国版（7/24）
　　インターネット TV で放映
６．　毎日新聞　夕刊社会面（7/11）
　　毎日新聞　中部本社版（7/30）
　　インターネット TV で放映
７．　毎日新聞　山梨版（7/25）
８．　毎日新聞　宮城版（7/29）
　　毎日新聞　全国版（8/1）
　　毎日小学生新聞（8/8）
　　朝日新聞　宮城版（8/1）
　　ミヤギテレビ、東日本放送、仙台 CATV などで放映
　　インターネット TV で放映
　　植樹風景の映像を You Tube で配信
９．　毎日新聞　埼玉版宮（9/5）
１０．　毎日新聞　福島版（9/25）
　　毎日新聞　全国版、福島版（9/26）
　　福島民報　（9/26）
　　テレビユー福島　夕ニュース放映（9/25）
　　ラジオ福島　放送（9/25）
　　ラジオ福島　番組放送（9/28）
　　You Tube による映像配信
１１．　毎日新聞　全国版、長崎版（10/31）
　　インターネット TV で放映
１２．　毎日新聞　全国版、熊本版（11/21）

⑦　日本経済新聞社企画　「エコプロダクツ展：森林からはじまるエコライフ展 2011」

【事業概要】

「フォレスト・サポーターズ」を推進する「美しい森林づくり全国推進会議事務局」が、日本最大級の環境展示会である「エコプロダクツ展 2011」において、森づくりと木づかいを進める様々な企業・団体と幅広く連携・協力して、以下の 4 つの展示等を通じて、森づくりと木づかいを進める多様な活動への参加を呼びかけた。

1. 森林からはじまるエコライフ展（テーマゾーンにおけるブース展示）

2.「フォレスト・サポーターズ」スタンプラリー
3. トークショー
4. 会場における木装化

【日時】2011 年 12 月 15 日（木）～17 日（土）
10：00～18：00（17 日のみ 10：00～17：00）
【場所】「東京ビッグサイト」東ホール内
【参加人数】展示ブース：19 万名
スタンプラリー：8,000 名
トークショー：200 名
【プログラム】トークショー：2011 年 12 月 15 日（木）　14：00～14：45（45 分間）
【出演者】草野満代　（国際森林年国内委員、フリーアナウンサー）
宮林茂幸　（国際森林年国内委員、東京農業大学教授）
皆川芳嗣　（林野庁長官）
2011 フレディーズ
〔司会〕丹羽順子（J - WAVE ナビゲーター）

⑧　読売エージェンシー企画　欧州に学ぶ森づくりワークショップ

【事業概要】
欧州で活躍するフォレスターを招聘し、路網整備が進み効率的な林業生産を行っている欧州の森づくりを学びながら、日本の森林・林業関係者と意見交換・国際的交流を推進するワークショップを実施。

【日時】2011 年 11 月 2 日（水）～3 日（木）
【場所】1 日目：大原富士宮ビガークラブ（静岡県富士宮市）
2 日目：富士宮市内民有林
【出演者】　カール・コルブ　（現シュベービッシュ・ハル郡森林署森林官）
ミヒャエル・ランゲ　（現エメンディンゲン郡森林署森林官）
高橋雅弘　（静岡県森林組合連合会）
門間孝厳　（北海道鶴居村森林組合）
森本正延　（高知県香美森林組合）
佐々木徹　（広島県太田川森林組合）
神戸知代　（宮崎県森林組合連合会）
【参加人数】80 名（国内林業関係者　等）
【報道状況】2011 年
林政ニュース（10/12）
日刊木材新聞（10/14）

⑨　ヘッド・ライン企画

僕と地球を繋ぐ森による啓蒙イベント「森のチカラで、日本を元気に。」

【事業概要】

「僕と地球を繋ぐ森」サポートメンバーである秋元才加・梅田彩佳・小林香菜・増田有華　（AKB48）や、国際森林年子ども大使である「葉っぱのフレディ」をゲストに迎え、楽しみながら、「国際森林年」と、私たちの暮らしにかけがえのない「森の大切さ」について来場者に訴求するシンポジウムを開催。

【日時】2011 年 11 月 9 日（水）時間　開場 13：00～、開演 13：30～
【場所】ベルサール九段　HALL　A
【出演者】永井美奈子　（フリーアナウンサー）
AKB メンバー：秋元才加、梅田彩佳、小林香菜、増田有華
2011 フレディーズ
今井久仁　　（僕と地球をつなぐ森 事務局長）
末松広行　　（林野庁林政部長）
【参加人数】約 134 名
【報道状況】2011 年
産経新聞　朝刊（11/10）
TOKYO HEADLINE 本誌 ほか（11/28）

⑩　読売エージェンシー企画　森の恵みにふれあうフェア in 有楽町

【事業概要】

我が国の森林の持続可能な経営、保全、持続利用の重要性に対する認識を高める催事として、国内の地域材を活用した各種製品（東北産林産物も含む）の出店・販売を行うフェアやステージイベントなど多彩な生産者・消費者の交流の場を提供。

【日時】2011 年 11 月 26 日（土）・27 日（日）
【会場】JR 有楽町駅前広場及び交通会館マルシェ
【参加人数】2 日間 計 72,000 名（駅前広場平均通行人数　6,000 名／1 時間）
※有楽町周辺地区道路環境整備協議会 想定算出データ
【報道状況】
読売新聞　都内版（10/20）
【実施内容】
・国際森林年にちなんだ音楽、歌と踊り等のパフォーマンスステージ
音楽ステージパフォーマンス：シェパード・パイ
歌と踊りのパフォーマンス：国際森林年こども大使 葉っぱのフレディ（8 名）

・国産材グッズ等のサンプリング
・東北支援コーナー販売・展示
　体験コーナー（マイ箸作り体験、箱型クライミングウォール）
・有楽町駅前交通会館マルシェ
　身近な地域材製品の販売・展示

⑪　日本経済社企画　「森林ウォーカー」

【記事概要】
　東京ウォーカー、関西ウォーカー、それぞれで 4 ページのタイアップ企画を実施。タレント・南明奈が明治神宮の森林を散策して、森林の素晴らしさを紹介。また、電車やバスで気軽に楽しめるオススメエリアを紹介するコーナーを設けるなど、近隣の森や公園への誘引も図った。

【出演者】南明奈　　（タレント）
　　山口博央　（林野庁経営企画課総括係長）
【紹介した森林】
■ 東京ウォーカー
　明治神宮の森、東京都奥多摩町「おくたま巨樹に癒される森」、高尾山自然休養林、館山野鳥の森、丹沢自然休養林、昭和の森・天城山自然休養林、富士山自然休養林
■ 関西ウォーカー
　明治神宮の森、明治の森箕面自然休養林、大江山の森、近江湖南アルプス自然休養林（奥島地区）、宝塚自然休養林、世界遺産 高野山千年の森、びわこ水源の森たかしま（家族旅行村ビラデスト今津）
【リーチ】（発行部数、視聴率、参加人数など）
　東京ウォーカー：59,503 部
　関西ウォーカー：81,975 部
　増し刷り 40,000 部配布　下記内訳
　　・ローソン：25,000 部（関東：12,500 部、関西：12,500 部）
　　・イベント：15,000 部（関東：9,500 部、関西：5,500 部）

⑫　日本経済社企画　ナショナル・ジオグラフィック日本版別冊号特集「森と生きる」

【記事概要】
　『ナショナル・ジオグラフィック』日本版が別冊として 60 ページ程度の森林特集号を刊行。特集の中では、森林・林業の再生プランが紹介された他、農林水産省からも国有林野事業を紹介。森林特集は別途イベントなどで配布した。

【刊行日】2011 年 6 月 30 日
【発行部数】
・日経ナショナル・ジオグラフィック85,588部に同梱
・冊子5,000部を各種イベントで配布

⑬　文化放送企画
GREEN FESTA　フレデリック・バック展記念×聞き書き甲子園
国際森林年フィルム・フェスティバル

【事業概要】
「聞き書き甲子園」は、毎年、全国の高校生が「森」や「海・川」の分野で活躍する「名手・名人」を訪ね、その知恵や技を「聞き書き」し、記録する活動である。第 10 回を迎える今年は、参加高校生が一堂に集まる開講式を、文化放送のラジオ番組「いとうせいこう GREEN FESTA」の公開収録を兼ねて、東京都現代美術館の「フレデリック・バック展」開催記念として同美術館講堂で行った。

【日時】2011 年 8 月 11 日（木）
午前の部　10：30~12：00
午後の部　13：30~17：10
【場所】東京都現代美術館・講堂（地下 2 階）
【出演者】
フレデリック・バック展関係者
出江俊夫　（林野庁森林整備部研究保全課長）
根本幸枝　（文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課民間教育事業振興室長）
いとうせいこう　（クリエーター・作家・タレント・作詩家）、
石川真紀　（文化放送アナウンサー）
塩野米松　（NPO 法人共存の森ネットワーク理事長、聞き書き甲子園講師）
阿川佐和子　（文筆作家）
中村知純　（日本テレビイベント事業担当副部長）
聞き書き甲子園卒業生
【参加人数】
午前の部　58 名（一般 25 名・関係者 23 名）
午後の部 143 名（一般 28 名・関係者（高校生含む）115 名）
【報道状況】2011 年
朝日新聞　夕刊（7/8）
文化放送「いとうせいこう GREEN FESTA」（ラジオ番組）（9/5、9/12）

⑭　政府広報ラジオ番組　中山秀征のジャパリズム

【事業概要】

国際森林年と我が国の森林について、農林水産大臣政務官の田名部匡代氏が、自身の体験も交えながら分かりやすく解説。

【日時】2011 年 4 月 30 日（土）・2011 年 5 月 1 日（日）

【出演者】

〔パーソナリティ〕中山秀征　（タレント）

〔解説者〕田名部匡代　（農林水産大臣政務官）

⑮　読売新聞の会員制サイト「ヨリモ」

インターネットサイトの構築・運営、シンポジウムの開催等の取り組みを実施。

〔インターネットサイト「森へ行こう」〕

【概要】

無料会員制インターサイトのヨリモ内に専用コーナー「森へ行こう～2011 国際森林年」を 8 月 12 日からスタート。主要コンテンツは、「森と生きる」「よみがえれ森よ～東日本大震災をこえて」「データでみる森林」「林業人列伝」「プレゼント Q」の 5 つ。震災復興関連では、森林総合研究所やオイスカなどの協力を得て、被災地の調査同行ルポや海岸林再生に向けた募金の創設などの記事を掲載。

〔全国町村会の物産展「町イチ！村イチ！」に国際森林年コーナー〕

【概要】

2011 年 12 月 3 日、4 日に東京国際フォーラムで開かれた物産展「町イチ！村イチ！」（全国町村会主催、読売新聞社後援）は、2 日間で 3 万 5 千人を集めた。

イベント会場内には、岩手県住田町の木造仮設住宅を中心とした震災復興・森林コーナーを設け、主催する全国町村会の協力で、この一角で国際森林年のパネルを紹介。

〔読売エージェンシーによるシンポジウム告知〕

【概要】

読売エージェンシーが手がけた 11 月 15 日開催の国際森林年シンポジウム「木質都市の未来」の参加者を募るため、ヨリモ内のサイト「森へ行こう」に専用ページを設けたほか、ヨリモ会員向けのメールマガジンでも告知を図った。

【視聴者データ】PV 総計：28 万 3,374PV

プレゼント応募者数合計：2 万 7,677 人

⑯　トーハン企画：森林・林業に関する読書キャンペーン

主要エリアとなる各図書館内での告知展開を行った図書館ブックフェアと、全国の図書館に対して発送している「新刊情報」での告知、さらに全国書店店頭での告知の 3 つの取り組みを行った。

⑯-1. 図書館ブックフェア　2011 での企画・取組概要

1. 総合カタログでの告知
   - ・開催事前配布、開催期間中に各会場で配布　カタログ部数　1 万部
2. 告知用チラシの配布
   - ・会場案内 DM　5 千通に告知用チラシを同封し配布
   - ・ブックフェア会場内で 1 千通配布
3. 告知用ポスターの掲示及び配布
   - ・図書館ブックフェア内での掲示
   - ・各会場来場者に配布し、各図書館での掲示を促進
4. しおり、ステッカーの配布
   - ・各会場来場者にしおり、ステッカーを配布し、国際森林年を告知
5. 特設コーナーの展開
   - ・各会場に関連図書とパネル展示による「2011　国際森林年　森を歩く」の特別コーナーを設置し、同様のコーナーづくりを図書館に推進

【日時】東京会場 10 月 14 日（金）　～　10 月 21 日（金）
　　大阪会場 10 月 26 日（水）　～　10 月 28 日（金）
　　東北会場 11 月 9 日（水）　～　11 月 11 日（金）
　　埼玉会場 11 月 16 日（水）　～　11 月 17 日（木）
【参加人数】来場館数　487 館
【報道状況】2011 年
　新聞之新聞（8/31、9/9、10/17）
　新文化（9/15）

⑯-2. 新刊情報での告知

【事業概要】

全国の公共図書館・大学図書館・学校図書館に毎週トーハンより送っている「週刊　新刊情報」で 3 回にわたり特集を表 2、表 3 対向の見開きでカラー掲載。また、「2011 年は国際森林年」と告知し、ロゴを載せた図書館ブックフェアの告知用原稿を随時、「週刊　新刊情報」の表 4 にカラー掲載した。

【送り先】全国の公共図書館・大学図書館・学校図書館 1,500 館
【報道状況】2011 年

新聞之新聞（10/24）

⑯-3．全国書店店頭での告知

【事業概要】

全国の書店で行われる書店店頭フェアにて、注目書籍の帯もしくは、パネル・ポスターで購入者・書店来店者へ告知。同時に、トーハンのプレスリリースにて、業界・プレスへの告知を行った。並行して、一部の書店（紀伊国屋、クレヨンハウス）では、しおりやちらしの配布も行った。

【送り先】全国の書店　述べ 2,970 店

【告知物配布数】　帯：43,450 枚　　パネル：3,100 枚　　ポスター　850 枚

しおり：1,200 枚

【報道状況】2011 年

新聞之新聞（8/31、9/9、9/15、10/17、10/24）

⑰　鉄道各社との企画　「森を歩く」企画協力

【事業概要】

高尾の森・ふれあいと学びのキャンペーン実施期間において、京王電鉄の全駅及び京王線車内においてポスターを掲出。高尾の森づくり・キャンペーン実行委員会が制作したチラシも全駅に置き配布した。また、「日比谷ライブ＆マルシェ」に合わせ、JR 有楽町駅でもポスターを掲出した。

【日時】2011 年 10 月 1 日（土）～11 月 30 日（水）

【掲出期間・掲出物：掲出場所】

10 月 1 日	～	11 月 30 日	・駅置きチラシ（A3 二つ折）：京王線全駅
10 月 14 日	～	11 月 30 日	・まど上インターワイド：京王線全車内
10 月 1 日	～	11 月 30 日	・B1 ポスター（駅貼りポスター）：京王線全駅
11 月 7 日	～	11 月 27 日	・B0 ポスター：JR 有楽町駅構内

⑱　朝日新聞「地球教室」

2008 年からはじまった、朝日新聞の地球環境プロジェクトである「地球教室」プロジェクトと連携し、児童向けに国際森林年についての普及啓発を図った。

地球環境教室全体では、民間企業の協賛、文部科学省・環境省・農林水産省の講演により以下４つの取り組みを、年間を通じて実施。

①環境教材の無料配布

②環境教育イベントの開催

③出張授業の実施

④こども環境新聞・作文の募集

国際森林年記念事業においては、①環境教材において国際森林年について取り上げたページを制作・掲載。

・環境教材配布部数：2,724 校（団体）・249,677 部

・環境教材　掲載ページ「地球教室 2011　応用・研究変」

⑲　林政記者クラブを活用した広報事業に対する支援

林政記者クラブの森林・林業業界紙により、森林・林業・木材産業関係者に対し国際森林年の広報を行った。

■各紙による森林・林業再生プランの掲載

再生プランに係る効率的な搬出間伐、公共建築物等の木造化・内装木質化などの実証事例を紹介。

・林業新聞　　11 月 23、30 日、12 月 7 日（3 回掲載）

・日刊木材新聞　12 月 8、9、10 日（3 回掲載）

・林経新聞　　11 月 7、24、28 日（3 回掲載）

・林政ニュース　9 月 14 日、10 月 12、26 日（3 回掲載）

・林材新聞　　11 月 20、25、30 日（3 回掲載）

■国際森林年記念賞の創設・授与

林政記者クラブが毎年実施しているグリーン賞（林政記者クラブ賞）の選定・表彰に併せて、特に森林・林業再生プランの実施について積極的かつ先駆的に取り組んでいる個人及び団体に「国際森林年記念賞」を創設、授与。

⑳　読売エージェンシー　小笠原ファムトリップ

【事業概要】

国際森林年に合わせ、小笠原の世界自然遺産登録の意義やその世界自然遺産の保護・保全と利用の両立に向けての様々な取組について取材誘致をし、貴重な自然保全の重要性を、一般国民に普及啓発するファムトリップを開催。

【日時】2011 年 12 月 16 日（金）～21 日（水）

【場所】小笠原諸島　父島・母島

【参加メディア】

デイリーヨミウリ（フリーランス：穴井 郁夫）

産経新聞（東京本社編集局地方部 記者 ：重松明子）

婦人公論（編集部：紙浦 政美カメラマン：秋山まどか）
学芸通信（カメラマン：前田光代）

【報道状況】

■2011 年

産経新聞　東京版（12/26）
MSN 産経ニュース（12/25）

■2012 年

SANKEI EXPRESS　東京版（1/8）
THE DAILY YOMIURI（1/28）

【実施内容】

1.おがさわら丸移動船内での勉強会開催
2.小笠原諸島森林生態系保全センターでの説明会
3.父島視察各所
4.地元との懇親交流会
5.母島視察各所
6.おがさわら丸移動船内での振り返り学習会（アンケート）

8-4. 国際森林年に向けた説明・情報交換会

1.「国際森林年」に向けた説明・情報交換会

【事業概要】

林野庁長官より国際森林年の背景と取組の方針を説明し、参加者と意見交換を実施。会場で出席者名簿とアンケートを配付し、将来のマッチングを支援。

【日程】2010 年 12 月 17 日（金）
【場所】農林水産省共用第 10 会議室
【説明者】皆川芳嗣（林野庁長官）、鈴木信哉（林野庁経営企画課長）
【参加者】民間企業等約 100 人
【報道状況】2010 年

毎日新聞朝刊（12/18）

2. 国際森林年に関する説明・情報交換会（第 2 回）

【概要】

企業や団体による国際森林年の取組に係る説明と意見交換。

【日程】2011 年 3 月 2 日（水）

【場所】農林水産省三田会議所第 3 室

【説明者】

佐古田睦美、木俣知大（公益社団法人国土緑化推進機構）、成澤竜也（日本経済新聞社）、稲留光（MOTTAINAI キャンペーン事務局）、橋田真（株式会社スタジオジブリ）、中井裕太（凸版印刷株式会社）、小見山蒋昭（ シンリン実行委員会）、鈴木洋一（森林環境教育推進協議会）、吉田俊通、高田絵美（公益財団法人オイスカ）、大西将徳（日本科学未来館）

【林野庁】末松広行（林野庁林政部長）

【参加者】民間企業等約 100 人

【報道状況】2011 年

日本農業新聞（3/3）

３．国際森林年　記念シンポジウム
「海岸林を考える　～東日本大震災からの復旧・復興へ向けて～ 」

【事業概要】
　東北地方太平洋沖地震で発生した津波により、海岸林は広範囲にわたって甚大な被害を受けた。これを契機として、今一度海岸林の重要性について考えるシンポジウムを開催。有識者からの話題提供を踏まえ、海岸林の再生に向けた海岸林の機能・効果の重要性についてパネルディスカッションを実施した。

【日時】2011 年 6 月 22 日（水）
【場所】木材会館　（東京都江東区）
【参加人数】361 名
【報道状況】2011 年
　日本農業新聞（6/23）
　NHK ニュース（6/22）
【プログラム】
〔司会〕井上章二　　（琉球大学農学部教授）
　１．開会挨拶
　　江崎次夫　（日本海岸林学会会長・愛媛大学農学部教授）
　　田名部匡代（農林水産大臣政務官）
　2．基調講演「海岸林の働き」
　　吉崎真司　（日本海岸林学会副会長・東京都市大学環境情報学部教授）
　　「津波による海岸林の被害と評価」
　　坂本知己　（森林総合研究所気象害・防災林研究室長）
　　「被災地からの報告～高田松原での取組～」
　　佐々木松男（高田松原を守る会）
　　「庄内海岸林の保全活動」
　　三沢英一　（万里の松原に親しむ会会長）
　　「海岸林の再生に向けて」
　　井上晋　　（林野庁治山課山地災害対策室長）
　３．パネルディスカッション
　　〔コーディネーター〕
　　林田光祐（日本海岸林学会副会長・山形大学農学部教授）
　　〔パネリスト〕
　　太田猛彦（東京大学名誉教授）
　　吉崎真司、坂本知己、佐々木松男、三沢英一、井上晋

8-5. その他の取組

1. 各種団体と連携した取組

国際森林年事業の最大化を図るために、公共性が高く、波及力のあると考えられる団体と連携し、森林の大切さなどを訴求した。

① ITTO 創立 25 周年記念イベント 『熱帯林の未来のために』

【事業概要】

2011 年が ITTO 創立 25 周年及び国際森林年に当たることを記念して、ITTO のこれまでの活動と成果を振り返るとともに、今後のよりよい熱帯林経営に活かしていくことを目的としたシンポジウム等の記念行事を開催。

【日時】2011 年 10 月 28 日（金）10：00-17：00
【場所】はまぎんホール Via Mare （神奈川県 横浜市）
【参加人数】約 200 名（国際協力関係者、各国大使館関係者、森林・林業関係者　等）
【出演者】

エマヌエル・ゼ・メカ	(ITTO 事務局長)
林文子	(横浜市長)
加藤敏幸	(外務大臣政務官)
C.W.ニコル	(国際森林年国内委員、 C.W.ニコル・アファンの森財団理事長)
森本哲夫	(農林水産副大臣)
皆川芳嗣	(林野庁長官)
神足勝浩	(元 JICA 参与)
フリーザイラー・ビン・チェ・イヨム	(元 ITTO 事務局長)
ソブラル	(前 ITTO 事務局長)
ITTO 職員	

② 国土緑化推進機構による海外の「友好の森」造成に係るメディア広報

【事業概要】

公益社団法人国土緑化推進機構が国際森林年を記念して海外で実施する「友好の森」造成事業について、国際森林年記念会議等の実施と一体的に効果的な広報活動を行う観点から、「日中植林緑化交流フォーラム 2011」を開催するとともにカンボジア、ベトナム、ラオスの 3 カ国において「友好の森造成」事業を行った。

②-1. 国際森林年記念・日中植林緑化交流フォーラム 2011

【事業概要】

中国において植林緑化活動を進めている団体が連携協力し、「日中グリーンエキスポ 2011」（主催：（特）日中グリーンエキスポ・マネイジメント、中国国際貿易促進協会）において、パネル展示や相談ブースを展開。また、「緑の大地、広げよう！日中の森づくり」をテーマとしたシンポジウムを実施した。

【日時】2011 年 6 月 1 日（水）～3 日（金）
【場所】中国北京市　中国ナショナルコンベンションセンター
【参加人数】100 名
（「日中グリーンエキスポ 2011」については、3 日間で延べ 20,230 名が参加。）
【報道状況】2011 年
毎日新聞（6/24）
中国緑色時報（中国緑色時報社）　（6/14）
日本と中国（日中友好協会）（7/15）
【出演者】
高見邦雄　（実行委員長）
梶谷辰哉　（公益社団法人国土緑化推進機構専務理事）
高見邦雄　（（特）緑の地球ネットワーク事務局長）
黄勝澤　（海外林業コンサルタンツ協会研究部長）
劉夢雨　（中国科学院遺伝発育研究所農業資源研究センター教授）
吉川賢　（岡山大学教授）

②-2. 緑の国際ボランティア研修（カンボジア）

【事業概要】

公益社団法人国土緑化推進機構が、国際森林年を記念して実施する「友好の森」造成事業について現地取材を行い、全国版朝刊記事として掲載するとともに、間伐材活用シンポジウムなどにおいて記事を配布。

【日時】2011 年 8 月 15 日（月）～22 日（月）
【場所】カンボジア国プノンペン市及びタケオ州
【参加人数】146 名

【報道状況】2011 年
　毎日新聞（9/24）

②-3.「ベトナム・日本　国際森林年の森（マングローブ）」の植樹と
　　ベトナムの森を訪ねる旅

【事業概要】
　ベトナムにおいてこれまで日本の協力で取り組まれてきた「人々の参加による森づくり」を、国際森林年を契機として更に展開するため、本年はマングローブ林の造成をめざした植樹行事を実施。
　併せて、マングローブや森の役割と人々との関わりについて語り合うシンポジウムを開催。

【日時】2011 年 9 月 8 日（木）～12 日（月）
【場所】ベトナム国ハイフォン、ハーロン他
【参加人数】約 100 名（日本側 20 名、ベトナム側 80 名）
【報道状況】特になし
【出演者】
　Nhi/HUA Duc　（ベトナム林業副大臣）
　青木正篤　（公益社団法人国土緑化推進機構常務理事）
　雨谷麻世　（歌手）
　Ngo Dinh Que　（森林大学教授）
　Vuong Van Quynh　（森林大学教授）

②-4. 第 1 回ラオス植林プロジェクト植樹ツアー

【事業概要】
　国際森林年を記念して、社団法人日本山岳会高尾の森づくりの会がラオス政府との間で「友好の森展示林を造成する」ことで基本的に合意し、焼き畑利用などによって劣化した森林の復元を図るための植林プロジェクトを開始。
　本植樹ツアーは、植林プロジェクトのスタートを記念して行ったもの。

【日時】2011 年 9 月 17 日（土）～21 日（水）
【場所】ラオス国バンビエン他
【参加者数】約 100 名
　　・日本側 32 名（JICA ラオス事務所等ラオス在住者 10 名を含む）
　　・ラオス側約 70 名

【報道状況】

「ぐりーんもあ」（2012 年初春号）

【出演者】

秋元則行　　（公益社団法人国土緑化推進機構募金企画部長）

河西瑛一郎　（社団法人日本山岳会高尾の森づくりの会代表）

③　MOTTAINAI キャンペーン

【事業概要】

2011 年の国際森林年という節目の年に、MOTTAINAI キャンペーン事務局（伊藤忠商事、毎日新聞社）が、日本国内で以下の活動を実施。

（1）国際森林年　普及活動

（2）国産材活用へ向けた啓発活動実施

（3）ケニアグリーンベルト運動および関連活動の紹介　その他

【日時】

①2011 年 6 月 19 日（日）イオンレイクタウン　KAZE　光の広場（埼玉県）

②2011 年 9 月 17 日（土）～ 18 日（日）クリネックススタジアム駐車場（宮城県）

③2011 年 9 月 25 日（日）ヨシヅヤ本店（愛知県）

④2011 年 10 月 11 日（火）～14 日（金）MOTTAINAI ステーション（東京都）

【参加人数】期間中合計　　約 30,000 名

【報道状況】2011 年

毎日新聞社（6/16、20、9/26）

河北新報社（9/13）

Yahoo!（5/27、6/16、19、20、9/20、26）

毎日 JP（6/16、19、9/26）

中部経済新聞（9/26）

NHK（9/14）

東北放送（5/3）　他　合計 87 件以上

④　日本プロ野球機構との連携

【事業概要】

社団法人日本野球機構は、温暖化防止活動「NPB Green Baseball Project」の一環として、2009 年から地方自治体と連携した「プロ野球の森」づくりを進めてきた。

国際森林年である 2011 年においては、美しい森づくり推進国民運動や木づかい運動などとの幅広い連携協力を図りながら、被災地における「プロ野球の森」づくりをスタートさせることとし、以下の取組を通じて大震災からの復興を支援した。

1.「プロ野球の森」（いわき 21 世紀の森）国際森林年記念植樹式・記念トークショー
2.「プロ野球の森」協定調印式・トークショー
3.「プロ野球の森」（カーボン・オフセット）協定調印式

〈取組内容〉

④-1.「プロ野球の森」（いわき 21 世紀の森）国際森林年記念植樹式
・記念トークショー

【日時】2011 年 12 月 4 日（日）10：20～
【場所】いわきグリーンスタジアム
【参加人数】約 5,000 名
【報道状況】特になし
【出演者】

井端弘和　（日本プロ野球選手会理事長）
新井貴浩　（日本プロ野球選手会会長）
渡辺敬夫　（いわき市市長）
少年野球団の子供メンバー数名
小島孝文　（林野庁首席森林計画官）
梶谷辰哉　（公益社団法人国土緑化推進機構専務理事）
井原敦　（社団法人日本野球機構事務局次長）
服部進　（ハートツリー代表、フォレスト・サポーターズ）

④-2.「プロ野球の森」協定調印式・トークショー

【日時】2011 年 12 月 16 日（金）13：00～13：45
【場所】東京国際展示場「ビッグサイト」
【参加人数】約 100 名
【報道状況】2011 年

日刊スポーツ（12/17）
東京中日スポーツ（12/17）

【出演者】

丹羽順子　　（J‐WAVE ナビゲーター）
古久保英嗣　（林野庁森林整備部長）
下田邦夫　　（社団法人日本野球機構 事務局長）
渡辺敬夫　　（いわき市市長）
谷福丸　　（公益社団法人国土緑化推進機構 副理事長）
服部進　　（ハートツリー代表、フォレスト・サポーターズ）
山崎武司　　（元東北楽天ゴールデン・イーグルス）

④-3.「プロ野球の森」（カーボン・オフセット）協定調印式

【事業概要】

国際森林年国内委員会が呼びかける『復興アクション「森のチカラで、日本を元気に。」被災地「森づくり・木づかい」支援運動』に応える形で、第 5 回国際森林年の開催に合わせて、岩手県住田町などの木質エネルギーによる「プロ野球の森」カーボン・オフセット協定の調印式を実施。

【日時】2012 年 1 月 11 日（水）13：10～13：45
【場所】岩手県住田町　生活改善センター　研修室
【参加者数】第 5 回国際森林年国内委員会出席委員及びプレス関係者約 30 名
【報道状況】2012 年

岩手日報（1/12）
岩手日報 web news（1/19）
Asahi.com（1/12）

【出演者】

井原敦　　（社団法人日本野球機構 事務局次長）
佐々木毅　（公益社団法人国土緑化推進機構 理事長）
坂本龍一　（国際森林年国内委員会、モアトゥリーズ 代表）
多田欣一　（国際森林年国内委員会、岩手県住田町長）
沼田正俊　（林野庁次長）
末松広行　（林野庁林政部長）

⑤　国際森林年記念シンポジウム
～森と木を活かす「グリーン・エコノミー」の創出に向けて～

【事業概要】
美しい森林づくり全国推進会議と公益社団法人国土緑化推進機構は、「生物多様性民間参画パートナーシップ」を進める経団連自然保護協議会との共催により、木を活かした持続可能な社会づくりに向けた新たな国民運動の展開をめざして、シンポジウムを開催した。

【日時】2011 年 7 月 4 日（月）13：00～18：00
【場所】経団連会館「経団連ホール」
【参加人数】300 名
【報道状況】特になし
【出演者】
出井伸之　（国際森林年国内委員、美しい森林づくり全国推進会議代表）
田名部匡代　（農林水産大臣政務官）
樋高剛　（環境大臣政務官）
末松広行　（林野庁林政部長）
宮林茂幸　（国際森林年国内委員、東京農業大学教授）
半谷順　（経団連自然保護協議会事務局次長）
大久保尚武　（国際森林年国内委員、経団連自然保護協議会会長）
太田猛彦　（東京大学名誉教授、東日本大震災に係る海岸防災林の再生に関する検討会座長）
涌井史郎　（東京都市大学教授、地球いきもの委員会　委員長代理）
香坂玲　（名古屋市立大学准教授）
安藤直人　（東京大学大学院教授、木づかい運動感謝状審査委員長）
赤池学　（国際森林年国内委員、ユニバーサルデザイン総合研究所所長）
西堤徹　（経団連自然保護協議会企画部会委員）
竹中雅治　（宮城県登米町森林組合　森林利用課長）

⑥　「フジロックの森」プロジェクトに関する相互連携協定調印式

【事業概要】
「フジロック・フェスティバル」の主催者である株式会社スマッシュと湯沢町及び新潟県は、地域の森林の保全・整備、森林資源の有効利用等を通じて持続可能な地域づくりに寄与することを目的として、相互に連携して協定の調印式を実施した。

【日時】2011 年 7 月 11 日（月）13：30～14：30
【場所】農林水産省農政クラブ

【参加人数】「フジロックの森」関係者及びメディア関係者約 40 名
【報道状況】2011 年
新潟日報（7/11）
朝日新聞（7/27）
日刊木材新聞（7/14）
JFN Flowers（7/13）
J-WAVE　ロハスサンデー（6/20、7/31）
ソトコト（9 月号）
Yahoo! キッズ環境エコニュース（8/1）
【協定調印式出席者】
上村清隆　（湯沢町長）
日高正博　（株式会社スマッシュ代表）
泉田裕彦　（新潟県知事）
皆川芳嗣　（林野庁長官：立会人）
溝端宏　（観光庁長官：立会人）

⑦　国際森林年記念「森を守ろうチャリティーコンサート」

【事業概要】
地球環境への関心が世界的に高まる中、国際森林年を記念して、朝日新聞社と読売新聞社が協力して森を守るためのコンサートを開催した。
コンサートの入場料全額を国際森林年の記念事業を展開する公益社団法人国土緑化推進機構に寄付した。

【日時】2011 年 7 月 12 日（火）19：00 ～21：00
【場所】浜離宮朝日ホール
【参加人数】200 名
【報道状況】2011 年
朝日新聞（7/13）
読売新聞（7/13）
【出演者】
円城寺雅彦　（指揮者）
藤原浜雄　（読売日響ソロ・コンサートマスター）
本間智恵　（司会：テレビ朝日アナウンサー）
宮本笑里　（バイオリニスト）

⑧　2011 国際森林年記念「緑の少年団」国際交流事業

【事業概要】

「全国緑の少年団連盟」（事務局：公益社団法人国土緑化推進機構）は、ロシア・ハバロフスク市において、NPO 法人「むさしの・多摩・ハバロフスク協会」と協力して、「全国緑の少年団」とロシア・ハバロフスク州森林管理局緑の少年団との交流事業を実施した。

【日時】2011 年 8 月 1 日（月）～5 日（金）
【場所】ロシア・ハバロフスク市
【参加人数】40 名（日本側 25 名、ロシア側 15 名）
【報道状況】2011 年
　毎日新聞（9/24）
【参加者】
　ヨハリショフ　　（ハバロフスク州天然資源省大臣）
　ボルトルシュコ　（天然資源省森林管理局長）
　スピリドノフ　　（森林管理局大ヘフィツル自然保護区所長）
　谷福丸　　（公益社団法人国土緑化推進機構副理事長）

⑨　世界森林アクション・サミット～森林と市民を結ぶ全国の集い 2011 in TOKYO～

【事業概要】

「国際森林年」及び「ボランティア国際年 10 周年」を記念して、国際緑化や地域開発、国際ボランティア等により海外で森づくり活動を行ってきた団体と国内で活動を行う団体間でノウハウを共有し、ネットワーク化を図ることを目的として、「世界森林アクション・サミット」として、「森林と市民を結ぶ全国の集い」を開催した。

【日時】2011 年 10 月 9 日（日）～10 日（月）
【場所】国立オリンピック記念青少年総合センター
【参加人数】113 名（10 カ国）
【報道状況】特になし
【出演者】
　開澤真一郎　（世界森林アクション・サミット実行委員会委員長、（特）NICE 日本国際ワークキャンプセンター代表（国連 CCIVS 副代表））
　梶谷辰哉　　（公益社団法人国土緑化推進機構専務理事）
　後藤健　　（国際熱帯木材機関（ITTO）事務局次長）
　鹿住貴之　　（（特）森づくりフォーラム理事、（特）JUON ネットワーク事務局長）
　新田均　　（（特）地球緑化センター事務局長）

三柴淳一　　（(特）FoE Japan 事務局長）
Maribeth N Reboton （オイスカ・マニラ事務所所長代行）

⑩　間伐材活用シンポジウム「木が育む文化、木と育む文化」

【事業概要】
　間伐によって木を利用することや木を伐ることについての理解を進めるため、公益社団法人国土緑化推進機構は、毎日新聞社との共催により、「森とともに育んだ文明」「木を取り入れた生活」をテーマに、文化的、歴史的な点から「森」を考えることを目的としてシンポジウムを開催した。

【日時】2011 年 11 月 10 日（木）13：00～16：40
【場所】時事通信ホール
【参加人数】200 名
【報道状況】2011 年
　毎日新聞（10/20、21、25）
【出演者】
　谷福丸　　（公益社団法人国土緑化推進機構副理事長）
　上田正樹　　（シンガーソングライター）
　安田喜憲　　（国際日本文化研究センター教授）
　斗ケ沢秀俊　（毎日新聞社水と緑の地球環境本部長）
　中嶋健造　　（NPO 法人土佐の森・救援隊　事務局長）
　佐藤和歌子　（NPO 法人森林（もり）をつくろう理事長）
　岸井成格　　（毎日新聞社主筆）

⑪　企業の森づくりフェア～生物多様性保全に関する森づくり・木づかい～

【事業概要】
　「国際森林年」の取組をフォローアップするため、日本最大級の環境展示会において、生物多様性保全に関する企業等の取組傾向や具体的な企業の取り組み事例を紹介。

【日時】2011 年 12 月 15 日（木）15：00～17：00
【場所】東京国際展示場「ビッグサイト」展示棟
　　東 1 ホール「日経 BP 環境経営フォーラムスクエア」
【参加人数】150 名
【報道状況】特になし

【出演者】

宮林茂幸　（国際森林年国内委員、東京農業大学教授）
皆川芳嗣　（林野庁長官）
藤田香　（日経 BP 環境経営フォーラム生物多様性プロデューサー）
山村宣之　（キリンビール株式会社 CSR 推進部品質・環境室主査）
武田学　（積水化学工業株式会社 CSR 部環境経営グループ）
佐藤英明　（富士通株式会社環境本部グリーンフロンティア室室長）

⑫　美しい森林づくり企業・NPO 等交流フォーラム

【事業概要】

美しい森林づくり全国推進会議と公益社団法人国土緑化推進機構は、経団連自然保護協議会が主催する生物多様性民間参画パートナーシップ第一回会員会合との共催により、2011 国際森林年の取組を総括するとともに今後の取組の方向性を探ることを目的として、企業・NPO 等交流フォーラムを開催した。

【日時】2011 年 2 月 16 日（金）13：15～17：30
【場所】経団連会館 2 階　国際会議場
【参加人数】150 名
【報道状況】特になし
【出演者】

上田浩史　（林野庁海外林業協力室長）
香坂玲　（名古屋市立大学准教授）
涌井史郎　（東京都市大学教授）
西堤　徹　（経団連自然保護協議会企画部会委員）
川廷昌弘　（CEPA ジャパン・「生物多様性と子供の森」キャンペーン実行委員会代表）
牛場雅巳　（環境省自然環境局生物多様性施策推進室長）
梶谷辰哉　（公益社団法人国土緑化推進機構専務理事）
大久保尚武　（国際森林年国内委員、経団連自然保護協議会会長）

⑬　第 96 回二科展「2011・国際森林年」をテーマとするポスター展の開催

【事業概要】

二科展デザイン部は、2011 年が国際森林年であることに鑑み、森林の有する重要性に対する認識を高めることを目的として、第 96 回二科展「2011・国際森林年」をテーマとしたポスター展を開催した。ポスター展の開催に当たっては、作品の公募・搬入から審査・受賞及び作品の展示を通して国際森林年の普及啓発に努めた。

【日時】2011 年 4 月 1 日（金）～7 月 21 日（木）（作品の公募、搬入）
2011 年 7 月 25 日（月）13：30～14：30（特別審査会）
2011 年 8 月 31 日（水）～9 月 12 日（月）（東京本展）
（※デザイン部展示 476 点、うち特別部門は 109 点）
2011 年 9 月 3 日（土）12：00 ～15：00（授賞式）
2011 年 10 月～2012 年 4 月
（地方展覧会：愛知、大阪、富山、京都、広島、鹿児島、福岡）
【場所】国立新美術館（東京都六本木）
【参加人数】二科展（東京本展）の総入場者数約 90,000 名
【報道状況】特になし
【出演者】
今村昭秀　（二科展デザイン部代表）
末松広行　（林野庁林政部長）
エマヌエル・ゼ・メガ　（国際熱帯木材機関事務局長）
佐古田睦美　（美しい森林づくり全国推進会議事務局長補佐）

⑭　コンテスト・エコキッズ 2011 における国際森林年特別賞の授与

【事業概要】
インターネット検索サイト「緑の goo」を運営する NTT レゾナント株式会社が、公益社団法人国土緑化推進機構及び「生物多様性と子供の森」キャンペーン実行委員会との共催により、全国の小学生を対象として行う地球環境に関する調べ学習の成果作品を募集するコンテストを開催。

【日時】2011 年 8 月 1 日（月）～ 11 月 15 日（火）（応募期間）
2011 年 12 月 6 日（火） 18：30～20：30（最終審査会）
2011 年 12 月 17 日（土） 13：30 ～14：30（表彰式）
【場所】大日本印刷株式会社　DNP 五反田ビル会議室（審査会）
東京ビッグサイトエコプロダクツ 2011「緑の goo」展示ブース（表彰式）
【参加人数】全国 99 校から 1,217 名が応募
【報道状況】
緑の goo において随時周知
【出演者】
米川達也　（NTT レゾナント株式会社常務取締役）
尾上圭　（環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性施策推進室）
犬塚昌良　（林野庁森林総合利用山村振興室長）

⑮　国際セミナー「持続可能な森林経営の挑戦」

【事業概要】

農林水産省林野庁とインドネシア共和国の共催により国連森林フォーラムの活動に貢献するための取組として開催。持続可能な森林経営の国際的動向、持続可能な森林経営を達成するために各国で取り組まれてきた政策手法や取組事例等を紹介。その結果を踏まえ、国連森林フォーラムへのメッセージの方向性について出席者間で議論。

【日時】2011 年 3 月 8 日（火）～9 日（水）
【場所】三田共用会議所 講堂（東京都 港区）
【参加人数】約 170 名
（各国政府、国際機関、NGO、民間団体、一般参加者など約 30 カ国から参加）
【出演者】

マヘンドラ・ジョシ	（国連森林フォーラム事務局上級専門家）
エヴァ・ミューラー	（国連食糧農業機関林業局森林政策チーム長）
マウゴジャータ・ブズコ・ブリッグス	（フォレスト・ヨーロッパ上級専門家）
エドワルド・マンスール	（国際熱帯木材機関　造林・森林経営担当次長）
アグス・サルシト	（インドネシア林業省国際協力センター長、共同議長）
アレキサンダー・ボアマン・アサー	（ガーナ共和国森林委員会資源共同管理部長）
田名部匡代	（農林水産大臣政務官）
片岡明人	（住友林業株式会社 山林部長）
後藤健	（林野庁海外森林資源情報分析官、共同議長）
他	

2. その他団体による森林年活動へのサポート

① 国際森林年の活動として、農林水産省、林野庁として推進すべき活動に対し、協力・後援を行った。

●表　農林水産省・林野庁協力・後援リスト

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
1	H22/12/10～11	社団法人全国木材組合連合会、一般社団法人全国木材検査・研究協会	合法性証明等に関する国際シンポジウム 2010	違法伐採問題に対処する日本の取組についてのシンポジウム
2	H22/12/14～15	総合地球環境学研究所、金沢大学	森林をめぐる伝統知と文化に関する国際会議	豊かな森林に囲まれたアジア各地の伝統的知識や文化を見直すための国際会議
3	H23/2/14	社団法人国土緑化推進機構、美しい森林づくり全国推進会議	「国際森林年」キックオフ記念『美しい森林づくり企業・NPO 等交流フォーラム』	森づくりや木づかい等の活動に取り組む企業・NPO の交流を目的としたフォーラム
4	H23/2/14	一般社団法人創造再生研究所	ライブ・ドリアード 2011「国際森林年メッセージ」	「木とともに暮らす」をサブテーマにした、ライフ提案型のシンポジウム・イベント
5	【募集期間】H23/2/14～4/15【表彰式】H/23/6/2	環境 NPO　オフィス町内会	2011 国際森林年「日本の森を元気にする」小学生作文コンクール	「国際森林年」にあたり、小学生対象に「日本の森を元気にする」ためには、どうすればよいかを考えた作文のコンクール
6	H23/2/16,17	（独）森林総合研究所	REDD プラス国際技術セミナー：－知見の共有と実践・経験からの議論－	各国関係者、日本の官民における REDD プラスの取り組み事例等の報告及びパネルディスカッション
7	H23/3/3	日本農林漁業振興協議会	第13回日本農林漁業のトップリーダー発表大会	農林漁業者、消費者、農林漁業の若者等による発表会
8	H23/3/7	特定非営利活動法人　NPO 事業サポートセンター	平成22年度林野庁森林づくり国民運動推進事業報告会国際森林年記念イベント	平成 22 年度林野庁補助事業　森林づくり国民運動推進事業に採択された団体の活動報告会
9	H23/3/7	森林総合研究所	公開シンポジウム REDD プラスの制度・政策に関する国内外の動向及び今後の方向性	REDD プラス実施に関する制度・政策面に関する成果を中心についての報告と意見交換。
10	H23/3/12	明治大学	国際シンポジウム「SATOYAMA 東アジアの自然再生モデル」	日本を含めた東アジアの里山についての国際シンポジウム
11	H23/3/20	吉野元気プロジェクト実行委員会	国際森林年記念「吉野杉木材住宅プロモーション特別ワークショップ」	吉野杉を活用した木材住宅に関したワークショップ
12	H23/3～H24/4	公益社団法人国土緑化推進機構 毎日新聞社	いのちの森づくりリレー植樹	全国１２箇所で行う「いのちの森づくりリレー植樹」において、「森と人との関係について多くの人々の認識を向上させること」を目的に、普及・啓発活動を展開。

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
13	H23/4/20～7/21（公募） H23/8/31～9/12（展示）	二科会	二科展	テーマにちなんだ美術作品の展覧会を開催。今年は国際森林年をテーマとしたポスターを募集、展覧。
14	H23/5/14	ダイヤモンドトレールサミット in 金剛山実行委員会	ダイヤモンドトレールサミット in 金剛山	「森を歩く」をテーマに、金剛葛城山系の各地域魅力を発信し、多くの人々の健康づくりや自然と歴史に親しむ契機とするイベント。
15	H23/5/22	（独）森林総合研究所、早稲田大学環境総合研究センター	国連環境計画・国際生物多様性の日記念シンポジウム：地球の恵み森林の生物多様性－その価値と危機そして希望－	森林の生物多様性を「価値」「脅威とそれに対する挑戦」「将来展望」の視点から考えるシンポジウム
16	H23/4/2、7/27、10/24、12/21	NPO 法人太陽の会、社団法人国土緑化推進機構	「森は地球の未来」-国際森林年に寄せて-雨谷麻世「僕にできること」環境チャリティコンサート	歌手「雨谷麻世」氏による国際森林年への環境チャリティーコンサート
17	H23/5/28	アサヒビール	アサヒビール環境文化講座 「国際森林年にみる森の多様性」	「自然の恵みを明日へ」をテーマに、環境問題から持続可能な社会作りを目指すための講座。国際森林年国内委員である C.W.ニコル氏が講演。
18	H23/5/29	国土緑化推進機構、森林文化協会、朝日新聞社	国際森林年記念・グリーンウェイブ2011－－みどりの力	国連生物多様性条約事務局が呼びかけるグリーンウェイブ運動に参加する催し。のぼり旗等で、国際森林年を PR。
19	【募集期間】 H/23/6/1～7/20 【表彰式】 H/23/10/14 【シンポジウム】 H23/12/16	いきものにぎわい企業活動コンテスト実行委員会事務局	「第 2 回いきものにぎわい企業活動コンテスト－企業の生物多様性保全等実践活動顕彰－」	生物多様性の保全や持続的な利用等の優れた実践活動を募集。国際森林年にあわせ、森づくりに関する特色ある活動を顕彰する賞を新設。
20	H23/6/1～8/31	エコ・ファースト推進協議会	森林に関わる「エコとわざ」コンクール	全国の小中学生を対象にした、生物、森林、環境などをテーマとした創作ことわざの募集。今年のテーマは国際森林年にちなんで「森林」。
21	H23/6/1～3	日中植林緑化交流フォーラム実行委員会	日中植林緑化交流フォーラム 2011	中国での植林緑化活動を広く PR し、幅広い意見交換を行うことを目的としたフォーラム。
22	H23/6/4～5	森林と市民を結ぶ全国の集い in 裏木曽実行委員会、社団法人国土緑化推進機構	森林と市民を結ぶ全国の集い in 裏木曽	市民参加の森林づくり進めていくために、森林ボランティア活動のステップアップやネットワークづくりのための集い
23	H23/6/4～5	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会	第 10 回ひろしま「山の日」県民の集い	講演会・シンポジウムと併せ、広島県下 10 ヶ所の会場で同時多発的に山の手入れ等を実施。
24	H23/6/6～9	全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会	第32回全国優良ツキ板展示大会	全国から優良なツキ板を集めた展示大会

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
25	H23/6/11	一般社団法人サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム 北海道大学サステイナビリティ学教育研究センター	公開講演会 「森林の多面的機能と地域の持続性」	世界、日本の森林の持続的な利用と、未来へ守り受け継ぐことをテーマにした講演会。林野庁から国際森林年についての記念講演
26	H23/6/12	（独）森林総合研究所	公開講演会：日本の森を活かそう	「連携とイノベーションで日本の森を活かす」ことをテーマとした講演会。国際森林年国内委員である佐々木毅座長が記念講演
27	H23/6/14～9/30	GTF 実行委員会	ＧＴＦ東京みっけ♪2011	文化活動・間伐推進・食育活動を通じた、東京圏（一都三県）の地域活性のイベント
28	H23/7～H24/5	㈶日本森林・林業振興会	国際森林年記念「世界遺産の森と木」フォトコンテスト	豊かな森林と木造建築物をテーマとしたフォトコンテスト
29	H23/7/4	社団法人　国土緑化推進機構	国際森林年記念シンポジウム ～森と木を活かす「グリーン・エコノミー」の創出に向けて～	新たな森と木を活かした持続可能な社会づくりに向けた国民運動の展開を図るシンポジウムを開催。
30	H23/7/11	公益財団法人オイスカ	東北の海岸林再造林を通じた復興支援シンポジウム	「シンポジウム開催」「啓発普及活動」「ネットワーク構築」「海外に向けた情報発信」を PR。
31	H23/7/26	木材利用推進協議会	23 木材利用推進中央シンポジウム（木材利用推進「全国会議」）	これからの木材利用推進の取組についてシンポジュウムを通じ、意見交換を実施。
32	H23/7/27～29	社団法人　大日本水産会	第 13 回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー	水産物の取引機会拡大、水産業界全体の振興・発展のための情報交換と学習するイベント 国際森林年のチラシなどを配布し、PR。
33	H23/7/28	公立大学法人名古屋市立大学	2011 国際森林年名古屋市立大学　市民シンポジウム	国際森林年を記念した市民向けのシンポジウム
34	H23/7/29～31	国土交通省、東京都、水の週間実行委員会	第 35 回　水の週間	水について、考える展示やシンポジウム、イベントを実施 国際森林年のパネルを展示
35	H23/8/1～12/27	エヌ・ティ・ティ　レゾナント株式会社	全国小学生環境学習出井 2011	全国の小学生を対象とした環境学習のコンテスト
36	H23/8/1　～ H24/3/31	一般社団法人あだーじょ	チャレンジ 25／大阪カーボンオフセット 「万博公園発!大阪の森づくり」	「チャレンジ 25」及び「国際森林年」キャンペーンに参加、大阪の森づくりを通して、CO2 削減の促進に寄与することを目的とした催し。
37	H23/8/上旬～下旬	大手町・丸の内・有楽町エコキッズ探検隊実行委員会	大手町・丸の内・有楽町　エコキッズ探検隊 2011	大手町・丸の内・有楽町界隈で実施された子ども向けの環境プログラム

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
38	H23/8/4～5	「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in 信州実行委員会	国際森林年記念イベント「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in 信州	「学校林・遊々の森」活動に取り組む全国の小学生が集い、学校林活動の促進を図ることを目的に開催。
39	H23/8/10 ～ H24/1/15	「近代日本の木彫展」実行委員会	抱きしめたい！近代日本の木彫展	毎年開催されている近代日本の木彫展。国際森林年に関する PR を実施。
40	H23/8/30～9/4 H23/11/16～19	I・P・A 実行委員会（株式会社世界文藝社）	国際森林年記念第 19 回 8.15 国際平和美術展～自然から平和を育む～	「自然から平和を育む」をモットーに芸術文化を通しての平和希求、自然環境保全推進・啓蒙を目的として開催。
41	H23/9/8～20	全日本山岳写真協会	2011 全日本山岳写真展	全日本山岳写真協会が毎年実施している写真展。
42	H23/9/10～11	恩師林御下賜 100 周年記念事業実行委員会	FSC 森林サミット 2011 in 山梨	持続可能な管理経営を広く発信するとともに、国際的な森林の様子やその役割への理解を深める。
43	H23/9/23	公益財団法人松下政経塾	シンリン・カンファレンス 2011～持続可能な森林を考える会議～	持続可能な森林づくりに必要な『森林百年の大計』を考えるシンポジウムを開催。
44	H23/9/23	公益社団法人日本環境教育フォーラム	2011 国際森林年、「アサヒの森」70 周年記念　アサヒビール環境文化講座「森林の可能性と多様性」	森林の可能性や多様性を知り、森林をもっと身近に感じ、考えることを目的とした講座。
45	H23/9/28～30	社団法人日本能率協会	第 33 回 Japan Home ＋ Building Show　ふるさと建材・家具見本市	国産材を利用した合板製品を PR。
46	H23/10/1 ～ 11/30	公益社団法人国土緑化推進機構	高尾の森・ふれあいと学びのキャンペーン	高尾山周辺の森林において、様々な団体が取り組む活動を紹介するとともに、それらの団体が連携・協力し、森の恵みに感謝しつつその適切な保全と利用を登山者等に呼びかける普及啓発活動を実施。
47	H23/10/7	人間文化研究機構、総合地球環境学研究所	人間文化研究機構第 17 回公開講演会・シンポジウム「遠い森林、近い森：関係性を問う」	国際森林年を記念した講演会・シンポジウム
48	H23/10/8～10	森林と市民を結ぶ全国の集い・世界森林アクションサミット実行委員会	世界森林アクション・サミット	海外で森づくり活動を行なってきた NPO 等と国内で活動を行う NPO が交流することを目的としたサミット。
49	H23/10/8～9	木づかいフェア実行委員会	とやま木づかいフェア	幅広い木材利用の推進、および、地球温暖化防止や森林整備についての普及・啓発。
50	H23/10/15	財団法人　緑の地球防衛基金	緑の地球を守るために（財）緑の地球防衛基金第 5 回研究・活動報告会	緑の地球防衛基金が第 4 回の研究・活動報告会を実施。
51	H23/10/15	人と自然の共生国際フォーラム実行委員会	第 5 回人と自然の共生国際フォーラム	愛・地球博の理念と成果を継承し、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに向けた社会づくりのために開催する。

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
52	H23/10/25	森林総合研究所	公開セミナー：地球の肺－アマゾンの森をはかる	「アマゾンの森林における炭素動態の広域評価」プロジェクトの中間報告会
53	H23/10/28	国際熱帯木材機関（ITTO）	検証 ITTO：熱帯林の未来のために四半世紀（仮）	ITTO 設立 25 周年を記念して、ITTO のこれまでの取り組み、国際森林年の意義等につき、普及啓発を行うシンポジウム。
54	H23/10/29 H23/11/27	（公社）国土緑化推進機構、第 36 回全国育樹祭静岡県実行委員会、（公財）森林文化協会、朝日新聞社、静岡県緑化推進協会、伊豆市	第 36 回全国育樹祭開催 1 年前プレイベント	全国育樹祭の開催機運の高揚、森林資源の利活用促進、林業の担い手対策を目的とした催し。
55	H23/11/1～12/9	三井物産フォレスト株式会社	横浜市営地下鉄ブルーライン「しんりん号」ラッピング電車	森の素晴らしさや三井物産の森を知ってもらいたく、横浜市交通局の列車「ブルーライン」のラッピング広告を企画。
56	H23/11/5～6	認定 NPO 法人日本グッド・トイ委員会	森のめぐみの子ども博	良質な国産材その他の、おもちゃや子ども関連の木製品の展示販売。
57	H23/11/10	国土緑化推進機構、毎日新聞社	間伐材活用シンポジウム	「森とともに育んだ文明」「木を取り入れた生活」をテーマに、文化的、歴史的な点から「森」と間伐材活用について考えるシンポジウム。チラシ等で国際森林年を PR。
58	H23/11/10,11 H23/11/17,18 H23/11/24,25	文部科学省	木材を活用した学校づくり講習会	木材活用に関する施策紹介や専門家による特別講演等を通じて、地方公共団体や木材関連企業、設計者等のみなさまによる、木材を活用した学校施設づくりの取組を支援。
59	H23/11/11	社団法人　海外産業植林センター	国際森林年記念講演会	海外における植林、 森林経営、電力会社の木質資源造成に有効活用などの取り組みの事例紹介とバイオマス利用がテーマの記念講演会
60	H23/11/12～14	日比谷ライブ＆マルシェ実行委員会	東日本復興支援プロジェクト　日比谷ライブ＆マルシェ	マルシェ内における国際森林年の PR と、東北産材製品の販売。
61	H23/11/13	森林文化都市サミット実行委員会、（財）自治総合センター	森林文化都市サミット～引き継ごう「森林文化」新たに始まる「森林文化都市」の創造～	『引き継ごう「森林文化」、新たに始まる「森林文化都市」の創造』をテーマにサミットを開催。チラシに、国際森林年ロゴマークを掲載し、国際森林年を PR。
62	H23/11/19	NPO 法人　共存の森ネットワーク	聞き書き甲子園 10 周年記念シンポジウム	「聞き書き甲子園」の 10 周年記念シンポジウム。国際森林映画祭出展作品「森聞き」を上映。
63	H23/11/28	森林総合研究所四国支所・四国森林管理局	国際森林年特別企画「人々のための森林」 公開講演会「世界の森林は動いている」―研究の現場から人と森の関係を考える―	「持続可能な森林管理・利用」に関する海外研究の一端を紹介した講演会

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
64	H23/12/1	財団法人国際緑化推進センター	国際森林年記念財団法人国際緑化推進センター設立20周年記念　海外緑化活動パネルディスカッション－熱帯林の再生は地域に何をもたらしたか－	国際緑化推進センター（JIFPRO）設立20周年を記念して、熱帯林の海外植林活動について、パネルディスカッションを開催。
65	H23/12/3	一般社団法人創造再生研究所	2011国際森林年記念シンポジウム「木の国再び」日本の林業再生と地域観光資源について	地域観光資源に対し、具体的政策提言に結びつくシンポジウムを開催。
66	H23/12/15～17	美しい森林づくり全国推進会議	エコプロダクツ『森林からはじめるエコライフ展』	「エコプロダクツ2011」において、森づくりや木づかい、環境教育や都市山村交流などを実施している団体によるブース展示。
67	H24/1/25	森林総合研究所東北支所	シンポジウム：岩手の地から飛躍的な木質エネルギー利用を	木質エネルギーの飛躍的な利用を推進するためのシンポジウム
68	H24/2/7～8	森林総合研究所	グローバルなREDDプラスの枠組み構築に向けて－プロジェクト活動からのスケールアップ。多様なプレーヤーの有機的連携－	REDD プラスに向けた活動を通じて得られた経験や関係者が直面している課題等を共有し、REDDプラスの最終段階や、世界の持続可能な森林経営の推進まで見据えつつ、その解決策を考え、共有することを目的に開催。

② 国際森林年国内委員会事務局によるサポート

農林水産省、林野庁の協力、後援とは別に、国際森林年の趣旨に賛同し、活動を行っている団体を幅広く、かつ円滑にサポートすべく、下記の内容を実施。また、イベントの性格に応じて「木づかい運動」への参加や「フォレスト・サポーターズ」への呼びかけなど、林野庁の政策広報に資するように促した。

協力申請に関しては、既定の協力申請用紙を提出し、事務局と林野庁との協議のうえ、協力を実施。

■ 協力内容

ⅰ） 「国際森林年国内委員会事務局」による「特別協力」名義の付与

ⅱ） 国際森林年国内委員会などへの著名人の参加

ⅲ） 国際森林年ブースの出展

ⅳ） PR媒体の提供

（汎用性のあるツール、既存国民運動のツール、各種文化行事の成果を活用）

ⅴ） 広告出稿などによる「特別協力」

●参考：協力申請用紙

（様式第１号）

平成　　年　　月　　日

国際森林年国内委員会事務局
（美しい森林づくり全国推進会議事務局内）あて

主催者代表団体名：
代表者役職・氏名：　　印

国際森林年国内委員会事務局特別協力名義使用等の承認申請について

別紙行事の開催について、国際森林年国内委員会事務局特別協力名義使用の承認を受けたいので、関係書類（※）を添えて申請します。

（※）団体及び行事の概要が分かる書類（事業計画書、収支予算書等。様式自由）及び申請書の電子データ（FD・CD等による提出或いはE-mailでの送付）

別紙（その１）

特別協力名義を使用する行事について

区　分		内　容
1　行事の名称		
2　行事の目的及び概要（注１）		
3　主催者	主催者名	
	住所	〒
	電話番号	
4　共催者		
5　他の後援・協力等申請先		
6　行事の実施期間		
7　行事の実施場所		
8　行事の掲載ホームページ		
9　名義使用の対象物		
10　名義使用以外の特別協力の希望		（１）情報発信の協力 （共同の記者発表、国際森林年WEBサイト等での公表、行事の発表機会の提供等） （２）来賓或いは講演者等の紹介・斡旋 （国際森林年子ども大使「葉っぱのフレディ」、国内委員会委員、農林水産省或いは関係団体から来賓・講演者の紹介・斡旋等） （３）資材等の提供及び貸出 （ポスター、チラシ、ステッカー、ピンバッジ等の提供、パネル、幟旗、たすき等の貸出） （４）国際森林映画祭参加作品の上映（注２） （５）その他
11　国際森林年の普及啓発及び既存の国民運動等との連携		※ 別紙（その２）を参考に提出のこと
12　東日本大震災への支援等（注３）		
13　連絡先	担当部署名	
	役職・氏名	
	電話番号	
	ＦＡＸ	
	E-mail	
14　その他		

（注１）国際森林年の趣旨、国内テーマ、既存の国民運動について、林野庁国際森林年情報発信プラットフォーム（http://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/2011iyf.html）をご覧頂き、ご記入下さい。

（注２）「国際森林映画祭」参加作品を自主上映会に使用する場合の手続きについては、林野庁プレスリリース（http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaigai/110301_1.html）をご覧下さい。

（注３）東日本大震災からの復旧・復興に向けた取組を行う既存の国民運動（緑の募金及び美しい森林づくり推進国民運動「フォレスト・サポーターズ」等）の取組は、「フォレスト・サポーターズ」ポータルサイト（http://www.mori-zukuri.jp/）に掲載していますので、参考までにご覧ください。

別紙（その２）

特別協力申請事業における国際森林年の普及啓発に係る取組について
（記入例）

（申請団体）は（行事の名称）の実施に当たっては、世界の森林の持続可能な管理及び利用を促進していくために、国際森林年の普及啓発を図るとともに、美しい森林づくり推進国民運動「フォレスト・サポーターズ」、木づかい運動、緑の募金運動等の既存の国民運動（以下、「既存の国民運動」という。）の推進に向けて下記について実施することとし、本件関係者に周知・徹底します。

１　国際森林年の普及啓発について

◎ 本件の実施に当たっては、各種制作物への国際森林年ロゴマークを使用します。
（注）国際森林年ロゴマーク使用は、別途申請が必要となります。
（フォレスト・サポーターズ「国際森林年特設ページ」
(http://www.mori-zukuri.jp/contents/kokusai/) をご覧下さい。）

◎ 本件の実施に当たっては、当該ホームページから国際森林年ページへのリンクを掲出します。

◎ 本件の実施に当たっては、国際森林年の趣旨等について関係者への周知を図ります。

○ 本件の実施に当たっては、次に掲げる事項の実施に努めます。
(1) 普及啓発資材等の配布に努めます。
(2) パネルの展示やポスターの掲示等に努めます。
(3) その他、国際森林年の普及啓発に資する取組の促進に努めます。

２　既存の国民運動の推進について

◎ 本件の実施に当たって、美しい森林づくり推進国民運動「フォレスト・サポーターズ」ポータルサイトで「国際森林年」活動宣言を行い、同サイト内で当該行事の告知・報告をします。

○ 本件の実施に当たって、次に掲げる事項の実施に努めます。
(1) 本件関係者への既存の国民運動への参加の呼びかけに努めます。
(2) 各種制作物への既存の国民運動のロゴマークの使用に努めます。
(3) 既存の国民運動の普及啓発資材等（参考資料参照）の配付に努めます。
(4) 既存の国民運動のパネル展示に努めます。
(5) 行事の開催地域における既存の国民運動の推進に資するため、地方公共団体等と連携して、地域における幅広い民間団体等による取組の紹介に努めます。
(6) その他、既存の国民運動の推進に資する取組の促進に努めます。

３　来場者の具体的な活動促進について

○ 本件の実施に当たって、次に掲げる事項の実施に努めます。
(1) 行事の開催地域において、来場者が実施することが可能な「国際森林年」活動宣言（美しい森林づくり推進国民運動「フォレスト・サポーターズ」）に関連する行事や施設、商品等の紹介に努めます。
(2)「緑の募金」の協力の呼びかけに努めます。
(3) 国産材紙や木製品等の使用に努めます。
(4) その他、来場者の具体的な活動促進に努めます。

●表　特別協力リスト

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
1.	H22/11　～ H23/11	にっぽんの木 100 年家具ｺﾝﾍﾟﾃｨｼｮﾝ実行委員会	にっぽんの木 100 年家具コンペティション	日本の森の健全を守るため、ものづくりの産地の活性化のために国産材を使用した家具のデザインコンペ
2.	H23/3/1　～ 12/31	フレディー・カンパニー	ミュージカル「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」	葉っぱの一生を描いた本作品（ミュージカル）を上演することで“いのち”と森林を含む“環境”の大切さを訴え、周知する。
3.	H23/4/24	㈱セラヴィリゾート泉郷	緑の基金チャリティーイベント　安曇野春まつり	「森をささえよう」「森にふれよう」「木をつかおう」「森と暮らそう」4 つのアクションを通して国際森林年を PR。
4.	H23/4/24	林試の森フェスタ実行委員会	２０１１春　林試の森フェスタ	地域住民の協力により都内の希少な森の中で自然を大切にして楽しむイベント
5.	H23/4/29　～ 5/5	SEVEN－G	JAPAN FOREST DESIGN PROJECT	日本の森林を企業や林業関係者、技術者のノウハウとデザイナーの斬新なアイデア・デザインの力による活性化を目的としたプロジェクト
6.	H23/4/29　～ 5/8	森林総合研究所多摩森林科学園	「国際森林年」特別展	多摩森林科学園展示施設「森の科学館」において、森林が果たしている役割を中心に展示内容を国際森林年に合わせ、リニューアルして展示
7.	H23/5/21　～ 22	里山シンポジウム実行委員会、千葉県、特定非営利活動法人ちば里山センター	第 8 回里山シンポジウム　里山里海と食	里山の荒廃と消失の現状を単に伝えるにとどまらない体験型で地域価値の発見と創出を検討したシンポジウム
8.	H23/5/29	山口県・山口市	やまぐち森林づくりフェスタ	県ポスターの展示等により「国際森林年」について周知
9.	H23/6/1　～ 8/28	北海道立図書館	資料展示「森を歩く　—2011 国際森林年—」	「森にふれよう」「木をつかおう」「森をささえよう」「森と暮らそう」にあわせたコーナーに、森林や林業などの理解を深める資料を紹介。
10.	H23/6/4～5	（株）セラヴィリゾート泉郷	国際森林年チャリティーイベント八ヶ岳新緑まつり	「森をささえよう」「森にふれよう」「木をつかおう」「森と暮らそう」4 つのアクションを通して国際森林年をＰＲ
11.	H23/6/5	福井県、福井市、（社）福井県緑化推進委員会	第 1 回みどりと花の県民運動大会 in 福井市	森林の大切さを訴え、県民参加型の森林整備・自然体験活動、森林環境教育の推進を図り、多様な森づくりと豊かな地域社会を形成することを目的とした催し。
12.	H23/6/15～	（株）ソニー・クリエイティブプロダクツ	フォレスト・サポーターズ『スヌーピーの木のおもちゃプロジェクト』	「国際森林年」を記念して「スヌーピーの木のおもちゃプロジェクト」を実施。
13.	H23/6/16	日本森林技術協会理事長　廣居忠量	（社）日本森林技術協会公開講座	ナラ枯れ被害の現状と対策について研究者、行政などの講師により、講義を実施。
14.	H23/6/20～	ＮＰＯ法人ドネーションミュージック	電子書籍　アファンの森のキコル	アファンの森で繰り広げられる、森の妖精キコルとそこに住む生き物たちの物語である、電子書籍「アファンの森のキコル」の発刊。
15.	H23/6/26	中国新聞文化センター	中国新聞文化ｾﾝﾀｰ特別現地講座　東京大学名誉教授養老孟司先生と過ごす　2011 年「国際森林年」特別企画裏匹見峡自然観察体験	国際森林年の今年、広島県民に島根県匹見町の魅力を知ってもらうことで、都会と中山間地域の交流を図る催し。
16.	H23/6/29　～ 7/4	北海道	木育フェア in アリオ札幌（仮）	子どもをはじめとするすべての人が木を身近に使っていくことを通じて人と、「木育」への理解促進を図ったフェア
17.	H23/7/1　～ H24/3/31	フジロックの森プロジェクト推進協議会	フジロックの森プロジェクト	持続可能な森づくりとそれに伴う観光資源の開発を行い、森林整備をはじめとした環境保全活動を推進を狙いとしたプロジェクト
18.	H23/7/2　～ 10/2	公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館/日本テレビ放送網/マンマユート団	フレデリック・バック展	アカデミー賞を 2 回受賞したフレデリック・バック氏の展覧会

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
19.	H23/7/8	NPO 法人アウトドアライフデザイン開発機構	第１回ロングトレイルフォーラム	全国のトレイル運営者、関係者が集まり、情報交換と交流することを目的としたフォーラム
20.	H23/7/17	真庭市	里山散策とトンボのスケッチ大会	真庭市民の親子連れを対象に、専門ガイドによる里山散策ならびにトンボのスケッチ大会
21.	H23/7/17	社団法人 真庭観光連盟	国際森林年記念森を使うバイオマス見学ツアー	バイオマス利活用を進める真庭市の取り組みを紹介する学習ツアーを実施。
22.	H23/7/19	「緑の循環」認証会議	「緑の循環」認証会議(SGEC)フォーラム	SGEC)認証制度の普及･拡大を通じて山村と市民が連携した国産材の利用促進を狙いとしたフォーラム
23.	H23/7/23	フェニックス・シーガイア・リゾート	ノルディックウォーキング体験イベント	南北 11 ㎞、約 700ha の黒松林に囲まれたノルディックウォーキングの体験イベント。
24.	H23/7/27	（株）セラヴィリゾート泉郷	国際森林年特別企画「木を植えた男」上映会	八ヶ岳にて「木を植えた男」を通じて国際森林年の PR を行う。翌日のイベントで森を歩き風景のデッサン会を実施。
25.	H23/7/27 ～ 8/10	岩国ユネスコ協会	ユネスコパネル展国際森林年 2011	世界中の森林の経営・保全の重要性に対する認識を高めるパネル展
26.	H23/7/30	（株） IDP	Hope For Tree Festival	間伐の必要性を訴え、木と共に暮らしていることへの意識向上しと、子供達に木と触れる機会の付与を目的に開催。
27.	H23/7/30 ～ 31	智頭町森林セラピー推進協議会	智頭町森林セラピー基地グランドオープン記念イベント	智頭町森林セラピー基地オープンを記念して、森林セラピーとシンポジウムを開催。
28.	H23/7/30 ～ 31 H23/8/20 ～ 21	アサヒビール（株）	アサヒの森　自然学園	「アサヒの森」において、小学生とその保護者を対象に、野外森林教育を実施。
29.	H23/7/30 ～ 12/3	岡山県	おかやま共生の森事業	下刈・間伐・枝打ちなどの森林活動に参加できる森として、「おかやま共生の森」を設置し、森林活動への参加促進を狙いとした事業。
30.	H23/8/3	テレビ新潟放送網	グリーンサークルにいがた	赤松山森林公園（阿賀野市）におけるテレビ新潟による「にいがた森づくりサポート事業」についての活動協定を行った。
31.	H23/8/5 ～ 12/11	GREEN DAY 実行委員会	GREEN－ＤＡＹ 2011	森林の持続可能な経営保全の重要性に対する認識を高めるため、地域の森・里・海の連環とそれを繋ぐ川をテーマにした活動を実施。
32.	H23/8/7	ぎふ山の日運動推進実行委員会	ぎふ山の日フェスタ 2011	清流の源である山に親しみ、山の恵みについて考え、理解を深めていただくことを目的に開催
33.	H23/8/13 ～ 9/19	東京都合板組合連合会	ウッドフェア 2011	東京都多摩産材のスギを用いた合板・LVL や、国産の間伐材など小径木によるスギ・アカマツ・カラマツ等の合板展示。
34.	H23/8/20	鯖江市環境まちづくり委員会環の国さばえ実行委員会	さばえ環境フェア 2011	環境の重要性や守るための取り組みについての啓発事業、展示・講演会を実施。
35.	H23/8/20 ～ 23	みどりの東北元気プログラム実行委員会	みどりの東北元気キャンプ	被災地の子供たちの心のケアのため、キャンプを実施
36.	H23/8/26 ～ 27	ジャパン建材株式会社	第 26 回ジャパン建材フェア	建築資材の販売・展示
37.	H23/8/28	公益社団法人群馬県緑化推進委員会	ぐんま山の日記念森林(もり)フェステバルにおける国際森林年 PR 事業	野外音楽祭及び、森と木の祭りを開催。
38.	H23/8/30 ～ 9/4	板橋区立熱帯環境植物館	2011 国際森林年の紹介	パネル展示を中心に国際森林年を紹介。木づかい製品等、林産物を販売。
39.	H23/9/1	林野庁　上越森林管理署	「妙高市笹ヶ峰地域における生物多様性保全活動」～守ろう！防ごう！笹ヶ峰～	妙高高原地域の生物多様性の保全を図るため、特定外来種の駆除及び在来種の植栽等の保全管理活動及びＰＲ活動を実施。
40.	H23/9/3	紋別市	馬に乗って森林浴どさんこトレッキング	北海道和種である“どさんこ”に乗馬しての森林浴を行う。

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
41.	H23/9/3	紋別市	チェーンソーで木を伐ってみようチェーンソー体験会	「国際森林年の集い」の開催に合わせ、安全なチェーンソーの使い方を学び、体験する。
42.	H23/9/3	紋別市	映画「TAKAMINE～アメリカに桜を咲かせた男」上映会	「国際森林年の集い」の開催に合わせ、植樹をめぐる人と人とのつながり・絆をテーマとした映画の上映会を行う。
43.	H23/9/9 ～10/29	Value Frontier 株式会社	みんなで学ぼう！森林の生物多様性～シンポジウム＆森林見学ツアー～	森林の生物多様性のシンポジウム＆森林見学ツアーを全国 5 か所で開催。
44.	H23/9/11	北海道森林管理局	国際森林年記念シンポジウム	国際森林年を記念したシンポジウム
45.	H23/9/17	NPO 法人エコアライアンス 21	2011 国際森林年記念特別企画 September Session	モンゴルにおける植林事業の紹介を行い、モンゴルにおける防風植林に対するチャリティーとしてジャズ演奏会を実施。
46.	H23/9/20	会津流域林業活性化センター	会津・阿賀野川流域「森を活かした地域づくり」シンポジウム	会津・阿賀野川流域の森を地域の資源として活用し、森と共に活きる地域を考えるシンポジウム
47.	H23/9/23	樹木・環境ネットワーク協会	海の森で出会う「いま・むかし」	生き物の視点から海の森づくりへの興味や今後の活動への参加意欲を促し、身近な生き物の大切さや保全する意識を育む催し。
48.	H23/9/25 ～12/31	特定非営利活動法人 土湯温泉観光まちづくり協議会	土湯の森づくりプラン	森を守るボランティアスタッフ 40 名とその家族らで刈払やヤマモミジの植栽、森を素材とした体験活動を実施。
49.	H23/9/30	株式会社エコトワザ	英日バイリンガル季刊誌 eco+waza 秋号（Vol.15）	英日バイリンガル季刊誌 eco+waza 秋号（Vol.15）にて「森林」を特集。ウェブサイトでも紹介。
50.	H/23/9/30	特定非営利活動法人 VERSTA	AF-AID　Vol.2	ブラジルにおけるアフロフォレストリー普及活動の支援のためのチャリティライブを開催。
51.	H23/10 ～H24/9	一般財団法人日本友愛協会	平成 23 年度日中青年アモイ市同安区生態緑化林事業	中国国内における植林事業を通じて環境保護を図るのと併せて、日中両国の交流を促進し、両国民の友情を深める。
52.	H23/6～12	岡山県	県民参加の森づくり事業	地域の小中学生や地元住民等による苗木づくりから、ボランティアによる植樹、下刈り、間伐等の森林体験活動を実施。
53.	H23/10/2	和歌山県・明治大学	南方熊楠シンポジウム	南方熊楠のエコロジー思想に関する基調講演及び座談会。
54.	H23/10/2	NPO 法人森林セラピーソサエティ	全国一斉森林セラピーウォーキングデイ	国際森林年を記念し全国 28 ヶ所の森林セラピー基地・セラピーロードでのウォーキングデイの開催。
55.	H23/10/2	青森県美しい森林づくり推進会議	青森県フォレストフェスタ 2011 in 梵珠山	森林の多面的機能の普及啓発。
56.	H23/10/8	岡山県	岡山県みどりの大会 2011	青少年が自然観察等の野外体験活動を通じた交流を実施。
57.	H23/10/15	三重県	「国際森林年」記念事業「三重の森林と木づかいフェア」	「国際森林年」の趣旨を広く PR するとともに、多くの県民が森林づくりへかかわる契機となるよう記念事業を実施。
58.	H23/10/15	九州沖縄農業研究センター	農研機構　九州沖縄農業研究センター　一般公開	研究紹介・体験・実演・試食などを一般向けに公開。
59.	H23/10/16～11/6	石川県	県民森づくり大会 2011	県下全域で様々な県民森づくり大会を開催し、県民全体で支える森づくりを推進。
60.	H23/10/17～19	日本合板工業組合連合会	第 33 回 日･台･韓合板業者懇談会	国際森林年の趣旨を踏まえ、日本・台湾・韓国の合板業者による意見交換及び記念植樹
61.	H23/10/19	林野庁 関東森林管理局 山梨森林管理事務所	国際森林年記念シンポジウム in 山梨「甲斐国（かい）の森林・林業の再生に向けて」	森林・林業の果たす役割については、森林環境教育活動などの取組紹介のパネル展示等を行い、普及啓発を図るシンポジウム。

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
62.	H23/10/21～11/15	黒瀬町森林組合	「鳥の巣箱で森にふれよう」in くろせ	鳥の巣箱を作成し、地域の小学校等に送付。
63.	H23/10/22～23	生活協同組合ちばコープ	Smile 八街の森フェスタ	Smile 八街の森での里山保全活動と森林保全の大切さに関する普及啓発。
64.	H23/10/23	林試の森フェスタ実行委員会	2011 秋 林試の森フェスタ	地域住民の協力により都内の希少な森の中で自然を大切にして楽しむイベント
65.	H23/10/28	岡山県	ナラ枯れ被害拡大防止対策推進検討会	ナラ枯れのメカニズムや被害の現状・防除対策、里山の管理方法等についての検討会。
66.	H23/10/28	NPO 法人アウトドアライフデザイン開発機構	第 2 回ロングトレイルフォーラム	全国のトレイル運営者、関係者が集まり情報の交換と交流を図るフォーラム
67.	H23/10/28～30	株式会社セラヴィリゾート泉郷	緑の基金チャリティーイベント 八ヶ岳秋まつり	「森をささえよう」「森にふれよう」「木をつかおう」「森と暮らそう」4 つのアクションを通して国際森林年を PR。
68.	H23/10/28～H24/3/25	東京農業大学	東京農業大学「食と農」の博物館「森林（もり）に聞く」展	「森林を五感で体感する」をテーマにパネル展示､実物展示等を実施。
69.	H23/10/29	独立行政法人 森林総合研究所 林木育種センター	第１６回「親林の集い」	森林・林業および林木育種事業の理解を深めるイベント
70.	H23/10/30	NPO 法人 もく（木）の会	親子で体験バスツアー 山の草刈りをしよう！	都市部に住んでいる消費者に、大阪府内に住宅の材料となる木材のすぐれた産地があることへの周知するためのバスツアー。
71.	H23/10/30	（社）兵庫緑化推進協会	ひょうご森のまつり 2011	兵庫県内にて、森作りの体験や実践などを行うイベント
72.	H23/11/3	府中環境プロジェクト実行委員会・府中市	あきかん～第３回府中エコ博～	環境啓発イベント
73.	H23/11/4～5	山形県小国町	国際森林年記念「白い森の国フォーラム」	森林の保全、活用、、森とともにある暮らしなどをテーマとしたフォーラム
74.	H23/11/4～5	株式会社住友林業	サステナブルフォレストギャラリー 2011 秋	本業を通した森林・林業への理解促進するためのギャラリー
75.	H23/11/4 ～12/5	財団法人岡山県環境保全事業団 環境学習センター「アスエコ」	木づかいのススメ展 ～2011 国際森林年～	国際森林年について知ってもらい、岡山の森林やそこで暮らす生き物について考え、身近な環境の大切さを考えてもらう展示会。
76.	H23/11/5	鎌倉市役所	鎌倉市 緑化まつり	緑に対する市民意識の高揚、緑化の普及を目的とした催し。
77.	H23/11/6	NPO 法人 能登半島おらっちゃの里山里海	おらっちゃの森づくり運動 2011	能登の荒廃した里山に、ボランティアを募って、クヌギを植林。
78.	H23/11/12	Hope For Tree 実行委員会	Hope For Tree Festival	間伐の必要性を訴え、木と共に暮らしているという意識向上を訴えるイベント。
79.	H23/11/12～13	里山のつどい・デザイン会議「自然学」in 秦野実行委員会	里山のつどい・日本文化デザインフォーラム 「自然学」プロジェクト in 秦野	森林里山活動をテーマとした「里山のつどい」を開催。
80.	H23/11/13	佐賀県	平成 23 年度九州北部三県みんなの森林づくり in SAGA	九州北部三県（福岡県、佐賀県、長崎県）における「九州森林（もり）の日」の記念イベント
81.	H23/11/13	富山県（農林水産部 森林政策課）	県民参加の森づくりフォーラム	富山県森づくりプランの前期５年間の取組み実績と後期５年間の森づくりの方向性について広く県民に PR。
82.	H23/11/15	(独)森林総合研究所、森林農地整備センター、東北北海道整備局	未来の世代に伝える森林づくり	国際森林年の記念及び東日本大震災並びに岩手・宮城内陸地震からの復興を祈念した植樹の実施。

No.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
83.	H23/11/16～27	金沢市国連寄託図書館／金沢市立泉野図書館	国際森林年パネル展	国際森林年や森林保護活動に関するパネルを展示。
84.	H23/11/18	みなと環境にやさしい事業者会議	企業と環境展2011 国際森林年記念トーク「企業の森はどこへ向かう？」	企業の活動事例を紹介しながら、企業の森づくりの未来について考えるフォーラムを実施。
85.	H23/11/19～20	小田原市無尽蔵プロジェクト おだわら環境志民フォーラム実行委員会	おだわら環境志民フォーラム―森の再生からブリの来るまちへ―	より良い海の保全の観点から、森林の再生・保全、これに係る持続可能な経営保全の重要性に対する認識を高めるシンポジウム
86.	H23/11/20	岩国ユネスコ協会 山口県ユネスコ協会連盟	第 59 回山口県ユネスコ大会	山口県で毎年開催される大会にて、国際森林年のパネルを展示し、PR。
87.	H23/11/22	新潟北部地域林業振興協議会	いわふねの森づくりセミナー	震災復興と木材産業の見通しや越後スギの魅力、今後岩船の地域森林整備などについてのセミナー
88.	H23/11/25～26	兵庫県宍粟市	映画「森聞き」上映会	国際森林年を記念した映画「森聞き」の上映会。
89.	H23/12/1 、12/10	三井物産株式会社	三井物産　森林環境プログラム	森林を身近に感じてもらう。森林環境のあり姿を理解してもらう森林環境プログラム。
90.	H23/12/3～4	全国町村会	町イチ！村イチ！2011	町村を PR する物産イベントに付帯する震災復興支援ゾーンに、国際森林年記念コーナーを設け、森林整備や国産材の利活用を PR。
91.	H/23/12/7	特定非営利活動法人 VERSTA	AF-AID　Vol.3	ブラジルにおけるアフロフォレストリー普及活動の支援のためのチャリティライブ
92.	H23/12/17	公益財団法人ニッセイ緑の財団	国際森林年記念シンポジウム　大震災に学ぶ“森づくり” ～見直される人と森との共存関係～	東日本大震災を境にした森林ボランティア団体等の活動変化をテーマとしたパネルディスカッション
93.	H23/12/17～18	パナソニック株式会社	森に学び、森と遊ぼう	森を知り、森に学び、森林保護の大切さなどを学べるイベント。

③その他の活動

農林水産省、林野庁の協力・後援、国際森林年国内委員会事務局の特別協力以外の国際森林年に絡んだ様々な活動を以下に紹介する。

●表　その他の活動リスト

NO.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
1.	H23/1/15～16	住友林業	サステナブルフォレストギャラリー2011「きこりんの森」	「森」や「木」の魅力を体験するイベント。国際森林年国内委員の草野満代委員が参加。
2.	H23/1/18	環境省、財団法人地球・人間環境フォーラム	シンポジウム「みんなで守り育む世界の森2011－企業と NGO／NPO のパートナーシップによる森林保全活動－」	森林保全活動に取り組む企業と NGO/NPO が情報交換、交流するフォーラム
3.	H23/1/29	東洋大学、木と建築で創造する共生社会研究センター	第3回木の学校づくりシンポジウム	地域材活用に関するシンポジウム
4.	H23/2/14,15	オーストリア大使館	オーストリアシンポジウム「森からのエネルギー創出」	オーストリアと日本の専門家による基調講演、及びオーストリアの森林技術、バイオマス、木質建材の紹介。
5.	H23/2/18 、5/18 、7/27 、11/1～2、12/20	社団法人 全国森林レクリエーション協会	森林共生フォーラム研究会	森林と人との共生に関する研究会

NO.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
6.	H23/2/26	「道民による道民のための森林フォーラム＆コンサート」実行委員会	2011 国際森林年記念道民による道民のための森林フォーラム＆コンサート	国際森林年を記念して北海道の森林を考えるフォーラム、コンサート
7.	H23/2/27	日本ファイヤーライフ	ファイヤーライフ・薪集めサポート・ジャパン	木材の運び出し、チェンソーで玉切り、薪割り機と斧で薪づくり、薪の積み込み
8.	H23/2/27	（一財）東京マラソン財団	東京マラソン	東京都内をマラソン、10ｋｍのコースを走る。出場したランナーが国際森林年のタスキをかけて PR。
9.	H23/3/2	森林総合研究所北海道支所	研究成果発表会：持続可能な北方天然林管理をめざして～択伐施行林における施行管理技術～	森林総合研究所北海道支所研究成果の発表会
10.	H23/3/3	自然産業研究所	平成 22 年度林業機械化推進シンポジウム	先進的な林業機械化の取り組みを推進するシンポジウム
11.	H23/3/5～4/1	プロダクション・エイシア	映画「森聞き」 上映	国際森林映画祭参加作品「森聞き」の上映
12.	H23/3/9	観光庁	魅力ある日本のおみやげコンテスト 2011	海外来訪者向け日本のおみやげのコンテスト。国産材使用の商品の中から、国際森林年を記念した特別賞を設定。
13.	H23/3/11	山梨県	恩賜林御下賜 100 周年　記念式典	恩賜林御下賜 100 周年の記念式典
14.	H23/3/11	社団法人 国土緑化推進機構	緑のボランティア活動報告会 2011	「国民参加の森林づくり」に関連した特徴的な取り組みを行なっている団体による事例紹介・ディスカッション
15.	H23/3/30	森林文化協会	書籍『国際森林年森の明日を考える 12 章』	温暖化防止対策としての森林保全、熱帯林の減少と劣化等のテーマを識者が論述。巻頭にて、国際森林年について記載。
16.	H23/4 ～6	(独)森林総合研究所森林農地整備センター	国際森林年記念植樹	国際森林年を記念して、6 地方整備局ごとに、植樹を実施。
17.	H23/4/10 ～ H24/1/15	島根県中山間地域研究センター	島根県県民の森ふれあい講座	県民に島根県内の森に親しんでもらうフィールドワークやツアー、トレッキングを開催。サイト等で国際森林年を PR。
18.	H23/4/15 ～ 5/14		みどりの月間	みどりの月間で、国際森林年に関連したイベントを全国各地で開催。
19.	H23/4/16～7/3	東京都庭園美術館	「森と芸術」展覧会	森にまつわる絵画や版画、工芸品など約 230 点の展示。
20.	H23/4/18 ～ 6 月末	丸の内朝大学企画委員会	丸の内朝大学アーバン木こりクラス	丸ビルで開催されている丸の内朝大学にて、木こりの体験会等を実施。
21.	H23/4/23	JRA	国際森林年記念・新緑賞	国際森林年を記念した競馬が東京競馬場で実施。
22.	H23/4/23,24	アースデイ東京 2011 実行委員会	アースデイ東京 2011	市民による日本最大級の地球フェスティバル
23.	H23/4/18 ～ 6/6,7/11～9/12	エコッツェリア協会	丸の内朝大学「環境学部アーバン木こりクラス」spring/summer	2011 年の国際森林年にあわせ、「木」「森」を通して日本の林業のことや地球環境のことを学ぶクラスを開設。
24.	H23/4/29	島根県	森の誕生日	ふるさと森林公園の開演を記念し、森をテーマにしたイベントを開催。
25.	H23/4/29	鳥取県	第 57 回鳥取県植樹祭	植林活動や木材利用促進、森づくり活動への参加の呼びかけを目的とした催し
26.	H23/4/30	日本郵政	国土緑化・国際森林年記念切手発売	第 62 回全国植樹祭の開催地、和歌山県にちなんだ樹種と国際森林年のロゴマークの入った切手の発行。
27.	H23/5/12	NPO 法人　ドングリの会、オークヴィレッジ、財団法人 C.W.ニコル・アファンの森財団	緊急提言シンポジウム　森と海をつなぐ日本の再出発	東日本大震災後、今後の復興にあたり、「森と海をのつながり」をベースとしたこれからの新しい日本の姿を考え、提言するシンポジウム。
28.	H23/5/21,22	宮崎県綾町	国際照葉樹林サミット	東アジアに広がる照葉樹林の生物多様性や文化、森林の保全と利用に関するサミット。サイト等で国際森林年を PR。

NO.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
29.	H23/5/22	地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）	震災復興支援シンポジウム	国連生物多様性の10年と国際森林年を踏まえ、森里海の連環、森づくりの循環や生物多様性などの観点から震災復興と地域の再生を議論する「震災復興シンポジウム」を開催。
30.	H23/5/22	紋別市・紋別漁業協同組合・紋別漁業協同組合女性部	第16回オホーツク魚の市民植樹祭	襟裳地域における植樹活動
31.	H23/5/28	森林文化協会	森を歩く・にほんの里100選フットパスツアー	にほんの里 100 選に選定された奈良県の奥明日香地域のフットパスツアー
32.	H23/5/29	北海道・北海道森林管理局	第62回北海道植樹祭 in おびひろ	北海道で毎年開催される植樹祭。ホームページ等で国際森林年を PR。
33.	H23/6/1～30	株式会社千趣会（ベルメゾン）	国産「ひのき」間伐材を使用した子供向け家具	オーガニックコットン普及プロジェクト”を指導し、同社の通販「ベルメゾン」等で、オーガニックコットン商品を紹介。チラシ等で国際森林年を PR。
34.	H23/6/3	ライフスタイルを見直す環境会議	第13回環境フォーラム	環境問題を通じ、自らのライフスタイルのあり方を見直すフォーラム。国際森林年にちなんで、森林整備がメインテーマ。
35.	H23/6/4	南足柄市森林ボランティア協議会	国際森林年記念講演会	国際森林年を記念した講演会。チラシ等で、国際森林年を PR。
36.	H23/6/4,5	環境省	エコライフ・フェア2011	節約・節電を含む様々なエコ活動を呼びかけるイベント。国際森林年のパネルを活用したクイズ等で参加者に周知。
37.	H23/6/5	牡蠣の森を慕う会、室根町第12区自治会	第23回　森は海の恋人植樹祭と水車まつり	大震災犠牲者の鎮魂と海の復興を願って、岩手県一関市で植樹祭を実施。国際森林年のタスキをつけ PR。
38.	H23/6/11	日本観光交流・伊勢会議実行委員会	第7回日本観光交流・伊勢会議	社会的に重要な役割を果たす観光の意味が大きく変貌しつつある今、健全な観光の発展を図る会議。チラシやのぼり旗等で、国際森林年を PR。
39.	H23/6/12～	葉っぱのフレディ事務局	フレディ・ロード大作戦	東日本大震災によって、失われた多くの森林を取り戻すため、地元の子どもたちを中心に苗木を植え、森林を育てるプロジェクト。子ども大使である、2011 フレディーズが東北地方への植樹を行うなど、国際森林年を PR。
40.	H23/6/17　～7/20	大阪市立東住吉図書館	国際森林年関連企画「森とみどりの図書」展	国際森林年関連展示として、森林や環境保全、樹木・植物に関する図書や、森や木を描いた小説・えほんを集めて展示。ポスターやチラシ等で国際森林年を PR。
41.	H23/6/18、21	NHK	2011･国際森林年記念番組「魚梁瀬千本山と100年の歴史・森林鉄道遺産を訪ねるツアー」を放映	6 月 5 日に四国森林管理局が主催した「2011･国際森林年「魚梁瀬千本山と 100 年の歴史・森林鉄道遺産を訪ねるツアー」を番組にて放映。
42.	H23/6/28～30	観光庁	伊勢神宮ご参拝チャリティツアー	内宮神楽殿で日々の安寧と東日本大震災により被災された皆様および地域の復興を祈願する伊勢神宮ご参拝チャリティツアー
43.	H23/7/8	NPO 法人アウトドアライフデザイン開発機構	ロングトレイルフォーラム	全国のトレイル運営者、関係者が集まり、情報交換と交流を図ることを目的にフォーラムを開催。
44.	H23/7/12	朝日新聞、読売新聞	国際森林年記念「森を守ろう」チャリティーコンサート	国際森林年を記念したチャリティーコンサート
45.	H23/7/21	特定非営利活動法人 活木活木（いきいき）森ネットワーク	国際森林年記念公開シンポジウム　木材利用と環境貢献を考える	国際森林年を記念した木材利用やフェアウッドに関するシンポジウム。
46.	H23/7/21～31	国土交通省、農林水産省、都道府県等	森と湖に親しむ旬間	森林や湖に親しむことで、心と体をリフレッシュしながら、森林やダム等の重要性について理解する体験会やイベントを実施。

NO.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
47.	H23/7/29～31	スマッシュ、湯沢町、新潟県	フジロック・フェスティバル'１１	持続可能な森づくりとそれに伴う観光資源の開発を行い、森林整備をはじめとした環境保全活動を推進する。
48.	H23/7/29 ～ 8/28	福井県立美術館	森と芸術　－美術と博物が語る森のひみつ－	森に関するさまざまな領域の美術作品だけでなく、恐竜時代までさかのぼり、化石等の博物標本で構成する展覧会。チラシやパンフレット等で国際森林年を PR
49.	H23/8/4	岐阜新聞情報センター	書籍「森の案内人」発行	岐阜新聞にて、川尻秀樹氏が連載している『森の案内人が行く』を「森・樹木・生物・山の恵み」のテーマごとに抜粋し、再構成した。 国際森林年を記念して発行され、国際森林年について、章立てして説明。
50.	H23/8/4、5	島根県緑の少年団連盟、（社）島根県緑化推進委員会、島根県	島根県　緑の少年団活動発表大会	緑の少年団で活動しているメンバーによる活動発表会と交流会
51.	H23/8/8	農林水産省・森林総合研究所多摩森林科学園	親子森林教室～森林と水について考えよう～	親子で森林内を歩きながら、森林の多面的機能、森林が育む水の恵み、水の大切さについて考える機会を提供。
52.	H23/8/8～10	キッズシティージャパン	キッザニア森の町内会林業体験	小学生を対象に枝打ちや間伐の仕事体験や木材加工工場見学などのプログラムを実施。 国際森林年のロゴマークをバナー（旗）に活用し、ＰＲ。
53.	H23/8/15～22	国土緑化推進機構	緑の国際ボランティア研修	カンボジアにおける自然環境保全活動への参加
54.	H23/8/17～18	農林水産省	子ども霞ヶ関見学デー	児童を対象に、省庁の業務説明や省内見学などで、体験活動の機会と施策の理解促進を図った。国際森林年の広報ツールで国際森林年を PR。
55.	H23/8/19	mont・bell	「2011 国際森林年」コラボレーション T シャツ販売	国際森林年にちなんで、コラボレーション T シャツを販売。
56.	H23/8/23	環境 NPO オフィス町内会	親子林業体験 in 夏休み	小学生の親子を対象に枝打ちや間伐の仕事体験や木材加工工場見学などのプログラムを実施。
57.	H23/9/1～10	東北森林管理局	白神山地を考える旬間	世界遺産に登録された「白神山地」について、その意義を再認識するための関連行事を実施。 国際森林年を記念し、シンポジウムと森を歩く集い、自然再生活動、遺産地域のパトロールを実施。
58.	H23/9/3 ～ 10/23	札幌芸術の森美術館	札幌芸術の森 25 周年記念展　森と芸術…札幌芸術の森美術展	15 世紀から現代までの絵画・写真・彫刻・など約 200 点の中に見られる多森の意味と重要性を探る展覧会。
59.	H23/9/17	富山県、とやまの森づくりサポートセンター、(社)とやま緑化推進機構	とやまの森づくりボランティアの集い	国際森林年を記念し、とやまの森作りサポートセンターの登録団体の交流会と森づくり活動参加を呼び掛ける体験ツアー
60.	H23/9/17	オークヴィレッジ	「ドングリセット」(ｷｰﾎﾙﾀﾞｰ・ストラップ・苗木・ポット等）オンラインショップ販売	国際森林年国内委員会事務局の特別協力イベントでもある「フレデリック・バック展」を記念した「ドングリセット」を販売。
61.	H23/9/21	日経 BP 環境経営フォーラム、ECO JAPAN、日経ビジネス、日経エコロジー	東京国際環境会議 2011	復興も視野に入れた日本社会と、地球全体のサステナビリティ実現のためのあるべき企業活動を考えるシンポジウム。
62.	H23/9/26 ～ 10/2	2050EARTH CATALOGUE 展実行委員会	2050EARTH CATALOGUE 展	2050 年社会の英知とヒント、思想を 3 つのテーマ「Environment／環境」「Culture／文化」「Life／生命」で展示。パネル展示等で、国際森林年を PR。
63.	H23/9/28 ～ 10/3	林野庁	農林水産省「消費者の部屋特別展示」	農林水産省の「消費者の部屋」にて、「身近な国産材製品と木育のご紹介」をテーマに特別展示。

NO.	実施日	事業主体	事業名	事業の概要
64.	H23/10/1	環境省、平成 23 年度自然公園ふれあい全国大会実行委員会	平成 23 年度自然公園ふれあい全国大会	自然に対する理解を深め、自然公園の適正利用の普及を推進するとともに、自然を大切にする心を育むために開催。パネル・チラシ等により国際森林年を PR。
65.	H23/10/1～31	林野庁	木づかい推進月間	国産材利用の意義を広め、利用を拡大していくための国民運動。二科展にて募集した「国際森林年」をテーマにしたポスターを PR 用ポスターとして使用。
66.	H23/10/2	森林文化協会	森を歩く・にほんの里 100 選フットパスツアー	にほんの里 100 選に選定された長野県の上松町地域のフットパスツアー
67.	H23/10/8	オークヴィレッジ、MOTTAINAI キャンペーン	MOTTAINAI の森カッティングボード』（全 4 種）オンラインショップ販売	国際森林年を記念して、日本国内の木材資源を活用した木製品を作製。
68.	H23/10/16	日本科学未来館	木を見ず"森"を見る～コミュニケーションと共生の視点から～	森林を木以外の動植物などの観点から考え、森林との共生、コミュニケーションを考える講演会。
69.	H23/10/24 ～31	三井物産	東京メトロ大手町駅構内「三井物産の森」広告掲示	「三井物産の森」に暮らす生き物たちをかたどった持ち帰り可能なヒノキの木片など、「三井物産の森」を演出。
70.	H23/10/28 ～30	チェーンソーアート文化祭実行委員会	チェーンソーアート文化祭	チェーンソーアートの公開彫刻、競技会、体験会を開催。
71.	H23/11/3	名古屋市	『国際森林年』記念事業 いたかの森“自然王国”	「国際森林年」にちなんで、名東区にある豊かな緑地「猪高緑地」で、自然と触れ合い自然を学ぶイベントを開催。
72.	H23/11/4、5	農林水産省、財団法人 日本農林漁業振興会	農林水産祭「実りのフェスティバル」	農林水産業と食に対する理解の増進と農林水産物の消費拡大等を目的として開催。
73.	H23/11/13	鹿児島県・九州森林管理局・公益財団法人かごしまみどりの基金	2011 九州森林の日植樹祭 in 桜島	九州森林の日にちなんで、桜島にて、植樹祭を開催。チラシに国際森林年ロゴマークを掲載して PR。
74.	H23/12/4	たつのこプロジェクト実行委員会	「木もく・ワークショップ！」2011 木を知ろう、木を使おう、木であそぼう！	子どもを対象に、木についての解説と木を使った工作を実施。
75.	H22/12/9～11	社団法人 産業環境管理協会、日本経済新聞社	エコプロダクツ 2010（9 日 木づかい運動顕彰、9 日 企業の森づくりフェア	森づくり、木製品利用推進、環境教育、都市山村交流などの活動団体・企業による展示ブースを設置。国際森林年をテーマにしたエリア、およびスタンプラリー等で、国際森林年を PR。
76.	H23/12/15	美しい森林づくり全国推進会議	企業の森づくりフェア～生物多様性に貢献する森づくり・木づかい～	日本最大級の環境展示会において、生物多様性保全に関する企業等の取組傾向や具体的な企業の取り組み事例。
77.	H23/12/16	美しい森林づくり企業・NPO 等交流フォーラム	美しい森林づくり企業・NPO 等交流フォーラム	2011 国際森林年の取組を総括するとともに今後の取組の方向性を探ることを目的として、企業・NPO 等交流フォーラムを開催。